

第五十一回 帝國議會 貴族院議事速記錄第十五號

大正十五年二月二十五日(木曜日)

午前十時十八分開議

議事日程 第十五號 大正十五年二月二十五日

午前十時開議

第一 所得稅法中改正法律案(政府提出)	第一讀會
第二 大正九年法律第十二號中改正法律案(政府提出)	第一讀會
第三 地租條例中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會
第四 明治三十七年法律第十二號中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會
第五 營業稅法廢止法律案(衆議院提出)	第一讀會
第六 營業收益稅法案(衆議院提出)	第一讀會
第七 資本利子稅法案(衆議院提出)	第一讀會
第八 相續稅法中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會
第九 通行稅法廢止法律案(衆議院提出)	第一讀會
第十 酒造稅法中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會
第十一 酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會
第十二 麥酒稅法中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會
第十三 醬油稅則廢止法律案(衆議院提出)	第一讀會
第十四 自家用醬油稅法廢止法律案(衆議院提出)	第一讀會
第十五 織物消費稅法中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會
第十六 賣藥稅法廢止法律案(衆議院提出)	第一讀會
○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ書記官ヲシテ報告ヲ致セマス 如シ 〔小林書記官朗讀〕	第一讀會
昨二十四日獸醫師法案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ 同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ	會議
大正十四年勅令第二百四十五號(承諾ヲ求ムル件)可決報告書	會議

請願文書表第五回報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

大正十五年度歲入歲出總豫算案並大正十五年度各特別會計歲入歲出豫算

案豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

同日内閣總理大臣ヨリ左ノ通政府委員仰付ケラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

農林省所管事務政府委員

農林書記官長瀬貞一君

○議長（公爵徳川家達君）是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、通告順ニ依リマシテ發言ヲ許シマス、森田福市君

〔森田福市君演壇ニ登ル〕

○森田福市君 本員ハ今日上程ニナツテ居リマス所ノ稅制整理案ニ付キマシテ、大藏大臣ニ御尋ネシテ見タイコトガアルノデゴザイマス、稅制整理案ノ御説明ハ昨日、大藏大臣ヨリ詳細ニ承リマシタノデ、相當ニ了解ガ參ツタノデアリマスルガ、尙ホ御説明中ニ於キマシテ、私ノ分ラナイ點ガ多々アリマスルノデ、其不明ナル點ニ付テ、大藏大臣ノ御答辯ヲ煩ハス次第アリマス、昨日ノ御説明中ニハ稅制整理ハ所謂社會政策ヲ加味スル意味ニ於テ中產階級以下ニ對シテハ相當ニ負擔ヲ輕クシ、資產階級ニ向ツテハ負擔ヲ多クスルト云フヤウナ意味デアリ、且廢稅及減稅ヲ一方ニヤリ、一方ニ於テ增稅若クハ新稅ヲ設ケテ負擔ノ均衡ヲ圖ツタ云フヤウナ御説明デアツタノデアリマス、サウシテ差引ノ點ニ於テハ約七百萬圓ト云フモノハ尙且不足ヲ生ズルト云フヤウナトノコトデアリマスガ、私ノ見ル所デハ、差引ニ於テハ大變ナル増徵ニナルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、其點ハ數字ヲ舉ゲテ私ハ御尋不シテ見テ、サウシテ果シテ、ドチラガ當ヲ得テ居ルモノニアラウカト云フコトノ判断ヲ諸君ニ御願ヒシタイト思フノデアリマス、先づ第一ニ營業收益稅ニ付テ御尋ネスルノデアリマスガ、營業收益稅法ノ第二條ニ於キマシテ、保險、運河、棧橋、船舶碇繫業、貨物陸揚業、或ハ鐵道等ナドハ全部、個人ハ免稅トナツテ居リ

マスガ、是ハ將來ニ於テハ、會社ニ向ツテデナケラバ御許シニナラヌカノヤウニ思フノデアリマス、現在ノモノデアツテ是ガ合資會社、……個人デ經營スルモノハ全然免稅ニナルト云フ譯デアリマセウカ、如何ナルモノデアリマセウカト云フコトデアリマス、是等ハ必ズ稅ヲ免レルト云フコトニナレバ、現在合資會社ヲヤツテ居ル者ガ斯様ナ事業ヲ解散シテ、匿名組合ナリ其他ノ方法ヲ個人經營デヤツタナラバ、是モ稅金ヲ免レルニ易タルモノデアラウト思ヒマス、是等ニ對スル取締ヲ、政府ハドウ云フ御考デアリマセウカ、尙ホ昨日ノ御説明中、要スルニ此大キナ貸家業デアリマス、所謂大建物、「ビルディング」ヲ持ツテ居ル銀行若クハ會社、斯ウ云フ方面ノ稅金、大建物ヨリ得ル所ノ收益、是ハ地方稅ニシテ、政府ハ國稅トシテハ徵收シナイト云フヤウナ意味ノ御話デアツタヤウデアリマスガ、私ハ此間、資本利子稅ト、營業收益稅法トノ間に矛盾ヲ生ズルカノヤウニ考ヘラレルノデアリマス、ナゼナラバ、此會社トカ、銀行トカ、保険會社ハ其大部分ノ資金ヲ入レテ大キナ建物ヲ建テテ居ツテ、ソレカラ上ガツテ來ル所ノ家賃收入ニ向ツテハ、所得稅ハ勿論、是ハドレデモ御取リニナルノデアリマスカラ、當然デアリマスガ、營業收益稅ハ免レル、殊ニ定期款中ノ目的ニハ貸家業ヲ營ムト云フコトハ恐ラク無イヤウニ考ヘテ居リマスカラ、サウスルト當然、營業ヨリ生ズル所ノ收益デナイ限リハ、營業收益稅ヲ免レルト云フコトハ當然ノコトデアラウト思ヒマス、サウスルト資本利子稅ノ方ニモ亦更ニ關係ガ無イコトニナツテ來ルノデアリマス、サウ致シマスルト、是ハ家屋稅ト云フモノモ免稅ニ……國稅トシテハ關係ガ無イ、地方稅ニ讓ルコトニナツテ居リマスガ、地方デハ單リ大キイ建物ヲ持ツテ居ル者ノミデナク、小サナ建物ヲ持ツテ居ル者モ、何レモ今度ハ府縣稅ノ、府縣ノ稅トナツテ戸數割ニ代ツテ納メルベキモノデアリマスカラ、當然、是ハ大小ノ建物ヲ論ゼズ、家主ガ負擔スルヤウニ考ヘラレマスガ、此點ハ政府ハ如何様ニ御考ヘニナツテ居ルノデアリマセウカ、此點ヲ一つ明カニ御願ヒシタノデアリマス、ソレカラ此營業收益稅ト資本利子稅トハ、之ヲ兼ネ合セテ考ヘテ見マスノニ、營業收益稅ニハ地方ノ府縣市町村ノ附加稅ガ掛ルノデアリマスガ、資本利子稅ト云フモノニ對シテハ府縣稅、市町村稅ノ附加稅ガ掛ラナイト云フコトハ、立派ニ同稅法中ニ記入シテアルノデアリマスガ、是ハ衆議院ニ於テ相當質疑應答ガアリマシテ、特殊ノモノニ對シテハ何トカ考慮セラルルヤニ承ツタノデアリマスガ、特殊ニアラズシテ、一般ノ營業收益稅ノ納入者ハ免レムト欲スル

ナラバ、合法的脱税ノ方法ハ極ク簡單ニ出来ルヤウニ思フノデアリマス、此點ハ從來モアリマシタヤウニ一ツノ同族ニ於テ、商事會社、貸金營業會社ト假ニ致シマシタ場合、一方ハ商事會社デアルカラ、一定ノ資金ヲ持ッテ居ル、一方ハ貸金ヲ營業トスル同族會社デアルカラ、商業會社ニ向ッテ低利デ以テ：一年ニ二分トカ三分トカノ低利デ以テ之ヲ假ニ供給スルコト、シ、一方ニ公債社債若クハ信託預金、斯ウ云フ方面ニ向ッテ預ケテ置イテ、其資本利子ヲ決算期末ニ於テ拂フノデアリマス、サウ致シマスルト一方収益稅ノ收入支出差引シマシタ額ニ對シテ課稅イタシマシタ場合、一方此収益稅金額カラ資本利子稅ヲ引去リマシタナラバ、甚ダ僅少ナル収益ニナッテ參ルノデアリマス、其上ニ資本利子稅ニ對シテ全然附加稅ヲ免レマスカラ、大變營業収益稅ノ附加稅ハ、確カ本稅一圓ニ對シテ一圓二錢ト心得マスガ、約半額ノ稅金ヲ免レテ來ルヤウニナリハセスカト思フノデアリマス、是ハ勿論合法的ノ脱税ノ方法デアリマスカラ、法律ヲ以テ制裁スルコトハ、今ノ法律デハ出來ナイヤウニ考ヘルノデアリマス、斯ウ云フ所謂合法的脱税ニ向ッテノ、政府ハ如何ナル取締、如何ナ手段ヲ講セラレタナラバ、之ヲ免カレルカト云フ御考ガアルノデアリマセウカ、是ハ大變ナ、私ハ問題デアルト思フノデアリマス、ソレカラ營業収益稅ノ歲入ニ於テ、從前ノ營業稅ヨリ生ズルヨリモ、収益稅ノ方ガ少々ト云フヤウナ御説明デアッタノデアリマスガ、我ムガ取調ベマシタ所デハ、大變ナ増徵ニナルヤウニ考ヘルノデアリマスガ、此點ハ最モ政府ノ御立テニナッテ居ル所ノ豫算等ヲ信用シテ、其豫算ダケノ收入ガアルモノナリト云フ限定ノ下ニ調査ヲ致シタノデアリマス、政府ノ豫算ヲ拜見イタシマスルノニ、大正十二年度ノ營業稅ノ收入豫算ハ四千九百四十七万七千百四十二圓デアリマシテ、是ガ調査額ハ五千六百四十六万五千五十六圓ニナッテ居ルノデアリマス、十四年度ノ豫算ハ五千七百二十八万二千五百三十四圓デアリマス、サウシテ本年御提出ニナッテ居ル所ノ豫算ハ五千九百四十七万七千六百一圓デアリマス、一方營業収益稅ノ方ハドウデアルカト申シマスト、大正十四年度ノ法人第一種所得、第三種所得、個人所得、之ニ持ッテ行ッテ營業ノ第一種所得ノ収益金ガ十四億二千万圓、個人所得ガ九億九万八千圓、之ヘ持ッテ行ッテ法人ガニ「コムマ」六、個人ニ對シテ「コムマ」八、百分ノ⋮⋮掛ケテ見マスルト、稅金ハ八千四百七十二万圓ニナルヤウニ考ヘルノデアリマス、サウ致シマスルト、資本利子稅ヲ御取リニナラヌデモ、既ニ此間ニ二千五百万ノ増徵

ガアルト云フコトハ明カデアリマスガ、尙ホ私ハモウ少シ多クナルト云フ理由ヲ、モウ一ツ参考ニ申上ゲタイノデアリマス、是ハ我國一般ノ營業収益稅ノ算出シタモノデアリマスガ、六大都市ニ於ケル所ノ法人ノ營業稅収益稅比較表ハ、之ヲ簡單ニ申上ゲマシテ、合計ダケヲ申上ゲマスガ、此點ニ於テモ、現行營業稅額ハ六大都市ニ於テ納メテ居ル八百二十七會社ガ九百三十一萬五千五百圓、新法ニ依ル營業収益稅千四百六十九万五千百五圓、增稅ト云フコトガ、差引ニ於テ五百三十七万九千圓ニナッテ參ルノデアリマス、之ヲモウ一ツ小サク致シマシテ、所謂或區ノ⋮⋮東京市ノ或區ノ一町内ダケノ大正十四年度ノ調査ニ依リマスト、營業稅ヲ調べテ見マシタノニ、荒物商、小間物商、雜品商、此三業者ノ小賣業者ノ其收入ノ合計ガ⋮⋮營業賣上額ガ五十六万七千四百圓ニナルノデアリマス、サウシテ從業員八十六人アリマス、此稅額ハ一千六百九十四圓二十錢、大正十四年ニ於テ徵收サレテ居ルノデアリマス、然ルニ十四年八月三十一日ニ決定イタシマシタ所ノ所得ハ、第三種所得ハ此三千業者ノ所得ガ八万五千五百二十三圓ニ決定ニナッテ居リマス、サウシテ之ヲ營業収益稅ノ個人トシテノ分ガ百分ノ「コムマ」ノ八ヲ掛ケマスレバ二千三百九十六圓六十錢トナリマシテ、差引ノ増ハ七百二圓四十錢ノ増ニナルノデアリマス、一國ノ營業稅ト収益稅ノ増徵ハ約四割ニナリマスルシ、六大都市ノ法人ニ依ルモノハ五割七分ニナッテ參リマス、此或區ノ一町内ダケノ此三業者ノ賣上高ノ割合デハ四割五分ノ増稅ニナッテ參リマス、何レノ點カラ論ジマシテモ、今回ノ營業収益稅ハ、從來ノ營業稅ニ比シテ、四五割ノ増徵デアルト云フコトハ明カニナルノデアリマス、政府ハ、大藏大臣ハ之ヲシモ尙且ツ現在ノ營業稅徵收額ヨリ少シト御答辯ニナルカモ分リマセヌガ、是ハ私ハ次ノ大正十七年度ニ於テ十五年度ノ決算ヲ御提出ニナッタナラバ明カニ直グ分ッテ來ルコトデアリマスルカラ、願ハクバ政府モ實際ノ數字ニ依ッテ御答辯ヲ御願ヒシタインデアリマス、此決定額ノ通知書ハ私ノ調べマシタモノハ一箇町内ニ於テ一件モ漏レテ居ラヌノデアリマス、是ハ具體的ニ何時デモ詳細ニ申上ゲテ差支ナインデアリマス、調査ハ十分行屆イテ居ル積リデアリマスカラ、此點ハ誠意ノアル御答辯ガ願ヒタイノデアリマス、尙ホ營業稅ハ營業外形稅デハ從來アッタケレドモガ、本質ニ對シテ所謂實際ノ收入ニ課稅スルモノデアル、斯様ニ大藏大臣ハ昨日御説明ニナッタノデアリマスガ、現行法ノ營業稅モ矢張リ収益稅ト何等變ラヌノデアリマス、是ハ損失ヲシタモノニ向ッテハ現

在デモ營業稅ハ免稅スルコトニナル、徵收シテアツテモ是ハ返スコトニナツテ居ルノデアリマスカラシテ、今回ノ營業收益稅法ハ以前ノ營業稅法ニ比較シテ論ジマスルト、劣ルト雖モ決シテ優タモノデハナイヤウニ我ミハ考ヘルノデアリマス、尙ホ之ニ付テ政府ノ御答辯ト同時ニ、成ルベク、即時トハ申シマセヌガ、大正十四年度ノ營業稅ハ曆年度デアリマスカラ、十四年一月一日カラ十二月三十一日マデノ此間ノ事業年度ノ終リノ第一種所得合計額及大正十四年八月三十一日ニ決定シタ所ノ第三種所得稅中ノ商業工業ヨリ生ズル所ノ所得總額及今回ノ新營業稅法ニ依ツテ豫算ヲ御組ミニナツテ居ル所ノ比較表、此三ツノ表ヲ御提出ヲ願ヒタイ、デ之ニ依リマスレバ明カニ數字ガ判然シテ來ルト考ヘルノデアリマス、之ニ依リマシテ尙ホ審議ヲ致シマシタナラバ、實際ノ現在御出シニナツテ居ル所ノ百分ノ三「コムマ」六、若クハ個人ノ百分ノ二「コムマ」八ガ正當ナル從前ノ稅額ニ比シテ上ボルトモ下ラヌデアラウト云フヤウナ考カラ、其點ヲ審議イタシマス上ニ於テ是非、必要ナモノデアルト考ヘルノデアリマス、尙ホ此唯今、御要求シマシタ表ノ御提出ハ必ず決算調書ノ時ニ現レテ來ルノデアリマスカラ、間違ナイモノヲ御提出ヲ願ヒタイノデアリマス、尙ホ政府ハ此營業收益稅法ヲ實施スルニ當リマシテ、課稅ノ標準ハドウ云フ風ニ、オヤリニナルノデアリマセウカ、從來ノ如ク、其地方ノ一稅務署ノ徵稅官吏……收稅官吏へ御一任ニナルモノデアリマセウカ、或ハ他ニ相當ナ適當ナル施行細則デモ御設ケニナツテ十分ニ御調查ガ出來テ、オヤリニナルモノデアリマセウカ、是ハ從來ノハ業種別ニ依ツテ稅率ガ變ツテ居タノデアリマスカラシテ、相當詳細ニ適當ニ出來テ居タモノデアリマスガ、若シ萬一、所得稅ノ第三種所得稅ヲ決定スル通リノ方法ヲ以テ御決定ニナリマス場合ニハ中產階級以下ノ商人デアル所ノ決算報告モ作レナイ、所謂貸借對照表デアルトカ、或ハ損益決算表ト云フヤウナ詳細ナル書面ヲ作ルコトノ出來得ナイ、中產階級以下ノ小商人ニ向ツテノ收益ノ決定ガ、從來ノ賣上金額ニ對スル所得ヲ以テ稅ヲ決定スル當時ノ如ク、賣上金額ノ百分ノ四若クハ五、若クハ一割二割ト云フヤウニ、任意ニ收稅官吏ニ於テ決定イタスヤウナコトガアリマシタナラバ、大變ナ間違ヲ生ジテ來ハシナイカト考ヘルノデアリマス、法人ノ方ニハ十分ナ決算報告ガ付イテ居ルノデアリマスカラ、是ハ勿論完全ニ出來ルモノト信ジマスガ、中產階級以下ノ其機關ヲ備ヘテ居ナイ者ハ、此稅法ノ爲ニ從來ノ所得稅ノ通リニ假ニ決定サレマセヌ、從來營業稅ニハ、卸

賣ニモ、小賣ニモ、甲乙ト云フ區別ガアリマシテ、生活必需品ハ何レモ甲ノ部ニ屬シテ居タノデアリマシテ、是等ノ所得ノ決定ニ當リマシテハ、甲乙ノ區別ヲ付ケテ居リマセヌ、甲ノ營業稅ヲ持ツテ居ル者モ、乙ノ營業稅ヲ持ツテ居ル者モ、一律ニ五分乃至一割ト云フ工合デ、政府ハ取ツテ居ラレタノデアリマス、左様ニ致シマシテ營業收益稅モ其通りニ御決定ニナリマシタガ、是ハ直チニ轉嫁稅トナルノデアリマス、營業收益稅ヲ賣上物品ノ中ニ稅金ヲ加算シテ行カナケレバナラヌヤウニナルノデアリマス、サウ致シマスト政府ノ說明中ニ所謂社會政策ヲ加味シテ居ルト云フコトハ、何等意義ノ無イコトデアリマシテ、是ハ社會政策ヲ加味シテ居ナイ、寧ロ中產階級以下ノ者ニハ不便ノモノデアルカノヤウニ考ヘルノデアリマス、此點ニ付テ徵稅ノ手續ノ方ヲ承ツテ見タイノデアリマス、尙ホ中產階級以下ノ、所謂相當ナ機關ノ備ツテ居ナイ、帳簿ノ正確ナルモノノ備ハツテ居ナイ店ノ必要經費ト云フモノヲ承ツテ見タイノデアリマス、此必要經費ハドノ程度ヲ指スモノデアリマスカ、一家族ノ全部ノ家事費ヲ差引クモノデアリマスカ、家事費ヲ差引カズニ、從業スル人ノ給料ヲ假定イタシマシテ、ソレヲ算定シテ差引イタスモノデアリマセウカ、是等ニ依ツテ擔稅額ノ變更ヲ來シテ來ルヤウニ考ヘルノデアリマス、唯、一徵稅官吏ノ手加減ニ依ツテ此貴重ナル營業收益稅ガ決定スルト云フコトハ、從來ノ外形的標準ヨリ見テ弊害アリトモ、國民ニ取ツテ我、商工業者ニ取ツテ不利デアルト考ヘルノデアリマス、此徵收ノ方法ノ機關ヲ相當完備セラレタモノガ出來得マスナラバ、或ハ優ルカモ分リマセヌガ、サモナケレバ現行法ニ劣ルトモ優ルモノデナイト考ヘマス、此徵稅方法ハ實際具體的ニ御説明ガ願ヒタイノデアリマス、尙ホ資本利子稅ノコトニ付テ承ツテ見タイノデアリマスガ、資本利子稅ニハ免稅點ガ無イヤウニ拜見イタシマシタガ、尙ホ説明中ニモ無カツタヤウニ考ヘルノデアリマスガ、左様ニ致シマスレバ免稅點ガ一ツモ無イト云フコトニナリマスルナラバ、僅ニ百圓ノ貸金ノアル者ニ向ツテ年八朱ノ利子ヲ取リマス、サウシテ八圓ノ收入ニ對スル百分ノ二ハ即チ十六錢ニナルノデアリマスガ、斯様ナ少額ノモノニ向ツテモ相當ナ手數ヲ要シテ徵稅ノ手續ヲ執ラナケレバナラヌト云フコトニナリマスカラ、寧ロ手數料ノ方ガ多クナル虞レガアルヤウニ考ヘルノデアリマス、是等ノ免稅點ヲ政府ニ於テハ如何ナル理由デ御設ケニナラナカツタノデアリマセウカト云フコトヲ承ツテ見タイノデアリマス、尙ホ資本利子稅ニハ減損更訂ノ條文ガ無イノデアリマス、

所得稅ニモ營業收益稅ニモ減損更訂ノ手續ガアルニモ拘ラズ、資本利子稅ニ限テ減損更訂ノ條文ガ無イト云フノハ如何ナル理由デアリマセウカ、必ズ決定期間カラ後ニ這入ツテ來ル收入デアリマスカラ、相當減損更訂ノ方法ガ無イト云カツタナラバ、有ツテモ無クテモ是ハ納メナケレバナラヌト云フコトニ結果ハナツテ來ハセヌカト、恐レル次第デアリマス、即チ營業收益稅法、所得稅法ニ減損更訂ノ方法アルニ拘ラズ、單リ資本利子稅ニ減損更訂ノ方法ガ無イト云フノハ、如何ナル理由ニ基クモノデアルカト云フコトヲ御尋ネスルノデアリマス、次ハ所得稅ノ點ニ付テ御尋ネシタイノデアリマス、所得稅法ノ第二十三條中ニ於キマシテ、山林所得ハ山林以外ノ所得ト之ヲ區分シテ、其金額ニ對シテ稅率ヲ算出シタモノヲ、金額ヲ五倍ニスルトアルノデアリマス、併シ是ハ五分ニシテ五倍ニスルト云フ譯デアリマスカラ結果ニ於テハ同ジデハナイカト思ヒマス、是ハ真ニ徵稅官吏ヲシテ手數ヲ多カラシムルノミデアッテ、結果ニ於テハ同ジコトト思フノデアリマス、此點ヲ御伺ヒシタイノト、ソレカラ大體、山林所得ト云フノハ山林ヲ採伐シテ金ニ換ヘタル時ノ所得デアルト考ヘマスガ、此山林植付ヲ致シマシテ、ソレカラ三十年乃至五十年程經タナケレバ賣ツテ所得トスルコトガ出來ナイノデアリマス、然ルニ其稅金ガ一度ニ取ラレルト云フコトニナリマスレバ……三十年乃至五十年ニ割付ケテ御取リニナルコトガ至當デハナイカト思フノデアリマス、此點ヲ御改正ニナル御意思ハ無イノデアリマスカ、如何デアリマスカ、御伺ヒシタイノデアリマス、尙ホ六十四條ニハ營業繼續ニ因ル所得ノ減損ハ更訂セズトアリマスガ、營業稅ノ繼續ハ親族其他ノ特殊ノ關係ニ依ル繼續ノ外ハ、普通、營業ニ失敗イタシマシテ破産ノ狀態ニ立至リマシタ者ヲ、何カノ事情ニ依ツテ第三者ガ引受ケテ營業ヲ繼續スルノデアリマス、斯ウ云フ場合ニ之ニ向ツテ減損更訂ガ出來ナイト云フコトハ、ドウ考ヘマシテモ合理的ノ所得稅法デハナイト考ヘルノデアリマスガ、ココ等ハ區別シテ、左様ナ理由ノ有ル者ニ向ツテハ、矢張リ減損更訂ヲヤツテ貰フト云フコトノ出來得ルヤウニ爲サル御考ヲ大藏大臣ハ御持チニナツテ居ラレルノデアリマスカ、如何デアリマスカト云フコトヲ御尋ネスルノデアリマス、ソレカラ此地方稅ニ向ツテ、チヨット御尋ネシテ見タイノデアリマスガ、從來ノ府縣ノ戸數割ヲ廢シテ之ヲ家屋稅ニ依ルト云フコトニ、今回御變更ニナル案ガ出テ居ルノデアリマスガ、家屋稅ヲ貨貸價格ニ依ツテ徵收スルト云フコトニナリマスルト、少クモ都市ノ形ヲ成シテ居ル所ハ完全ニ

調査モ行屆キマス、サウシテ都市ノ形ヲ成シテ居ル所ニハ何レモ相當ノ家主ガアリマスカラ、是カラ徵收スルコトハ、從來ノ市ガ取ツテ居ツタ家屋稅ト變思ヒマスガ、左様ニ致シマスト、從來小作人デアル所ノ者ハ單ニ家屋稅ヲ納メルヤウニ考ヘルノデアリマス、サウシテ地主ハ自分ニ必要ナル所ノ家畜ヲ飼フ所ノ厩舍ヲ持ツテ居ラズ、其他農產物ノ加工場ヲ持ツテ居ラズ、或ハ色ニナ附屬シタル所ノ建物ノ數ガ必要ガ無イカラシテ少ク持ツテ居ル、其小作農者ガ多額ナル稅金ヲ負擔シテ、一方、大地主ト云フ方面ハ更ニ負擔ヲ免レルヤウニナルト心得ルノデアリマスガ、從來ハ戸數割ハ資產ノ程度ニ應ジテ等級ヲ設ケテ之ヲ徵收シテ居タノデアリマス、然ルニ其方法ヲ廢シテ、家屋稅ニ依ツテ府縣稅ノ稅金ヲ負擔スルコトニナリマスルト、一變シテ來テ、僅ニ資產ノ無イ者ガ家ダケ大キイノヲ持ツテ居ルガ爲ニ多額ノ稅金ヲ負擔スルコトニナルノデナカト心得ルノデアリマスガ、是ハ家ノ坪數其他ノ方法ニ依ラズニ、資產ニ依ツテ等級ヲ割出スモノデアリマセウカ、其點ハ御説明ヲ多少聽漏ラシテ居ルノデアリマス、此點ハ今少シ詳細ニ承リマシタ上デ質問スルガ適當デナカト心得ルノデアリマス、私ノ質問ハ以上デアリマス

〔國務大臣濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（濱口雄幸君）唯今ノ森田君ノ御質問ハ、國稅ニ關シマシテハ十箇條ニ亘ツテ居リマシテ、中ニハ極メテ詳細ナル點ニ付キマシテノ數字上ノ御質問モアツタノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテハ能ク速記録ヲ拜見ヲ致シマシタ上デ、委員會其他適當ノ場合ニ於キマシテ詳細ニ御答ヲシタ伊思ヒマスガ、唯今私大體ノ御答ヲ致シマシテ、漏レマシタ點ハ委員會等ニ於テ詳シク申述ヘルコトニ致シタイト思ヒマス、第一ノ御質問ハ、營業收益稅ニ付テ、是迄營業稅ヲ課シテ居リマシタ所ノ營業業體ノ中カラ、運河業外四ツノ營業ノ種目ヲ除外イタシマシテ、個人ニ營業收益稅ヲ課シナイコトニ致シタ、其點ニ付テノ御質問デアツタノデアリマス、森田君ハ個人ニ對シテ營業收益稅ヲ課セナイコトニ改正ヲスルト云フト、是迄法人デ其種目ノ營業ヲ致シテ居ツタ者ガ、法人ヲ解散ヲ致シテ或ハ個人營業トナシ、或ハ組合ノ營業トナスト云フ

如キ場合ニ於テハ、營業收益稅ノ課稅ヲ免ルルト云フ結果ニナルデハナイカ、ソレデハ負擔ノ公平ヲ失フ憂ハナイカト云フ意味ノ御質問デアッタヤウデアリマス、此五種類ノ業體ヲ個人ノ營業收益稅ノ課稅ノ範圍カラ除外ヲ致シマシタ其理由ハ、個人トシテ其業體ヲ營んで居リマスル者ガ極メテ少ナインデアリマスト云フノガ第一點、第二點ハ其稅額モ亦極メテ少ナインデアリマス、此五種ノ業體ヲ通ジマシテ營業稅ノ收入高ガ一千圓ニ足リマセヌ位ノ少額デアリマス、即チ多クハ法人ノ營んで居ル事業デアリマス、ソレ故ニ個人ノ課稅業體カラハ除外イタシタノデアリマスルガ、若シ個人ニ課稅シナイト云フ新法ノ規定ヲ利用イタシマシテ、脱稅ヲ圖ルノ目的ヲ以テ、法人ガ解散ヲ致シ個人ノ營業ニナルト云フガ如キ場合ニ於テハ、私ハサウ云フ場合ハ餘リアルマイト思ヒマスガ、若シサウ云フコトノアリマシタ時ニ於テハ、ソレハ地方稅ノ課稅ヲ受ケルコトニナリマスカラ、國稅ノ代リニ地方稅ヲ課セラルルト云フコトニナリマシテ、其負擔ハ餘り變ラヌコトニナラウト思ヒマス、從テサウ云フコトヲ計畫スル者ハ蓋シアルマイト考ヘテ居リマス、第二點ハ、會社ノ經營イタシテ居リマス所ノ貸家ノ業體デアリマス、他ノ事業ヲ營んで居テ、サウシテ此貸家ノ營業ヲ兼營イタシテ居ル場合ニ於テ、營業收益稅ノ關係ハドウナルカト云フ意味ノ御質問デアッタ承リマシタ、サウ云フ場合ニ於キマシテモ、此度ノ政府ノ提案ニ係リマス所ノ營業收益稅ハ、苟クモ營利法人デアリマス以上ハ、其業體ノ如何ニ拘ラズ、又本業ト兼業トノ事情ノ如何ニ拘ラズ、齊シク之ヲ課稅イタシマスルガ故ニ、其貸家營業カラ生ジマスル所ノ純益モ、亦營業收益稅ヲ課セラルルト云フコトニナリマス、第三ノ御質問ハ、營業收益稅カラ資本利子稅ヲ控除スル結果トシテ、其控除ノ金額ガ多クナッタ場合ニ於テハ、營業收益稅ヲ納ムル金額ガ非常ニ減少ヲ致ス、ノミナラズ資本利子稅ニハ地方稅トシテ附加稅ヲ課スルト云フコトガ出來ナイト云フコトハ、其課スル本ノ本稅ガ非常ニ少ナイ結果トシテ、地方稅ノ附加稅ハ極メテ少イコトニナル、或ル場合ニ於テハ全然附加稅ヲ受ケザル結果ニナル、是ハ不都合デハナイカト云フ意味ノ御質問デアッタ承リマシタ、國稅ノ營業收益稅ヲカケタ場合ニ於テ、ソレニ對シマシテ地方稅附加稅ヲ課スルト云フコトハ、其課スル本ノ本稅ガ非常ニ少ナイ結果トシテ、地方稅ノ附加稅ハ極メテ少イコトニナル、或ル場合ニ於テハ全然附加稅ヲ受ケザル結果ニナル、是ハ不都合デハナイカト云フ意味ノ御質問デアッタ承リマシタ、國稅ノ營業收益稅ノ負擔ハソレダケ減リマスガ、併シ營業收益稅トシテ御說ノ通リ營業收益稅ノ負擔ハソレダケ減リマスガ、併シ營業收益稅トシテ

納メマスル所ノ金額ト、資本利子稅トシテ納メマスル所ノ金額トヲ合計イタシマスルト云フト、御心配ノ如キ負擔ノ不權衡ハナイト考ヘマス、何レカノ補完稅ヲ納メルコトニナリマスカラ、營業收益稅ノ形ニ於テ納ムル場合デアリマシテモ、或ハ資本利子稅ノ形ニ於テ納ムル場合デアリマシテモ、其業體ノ人ミニシテ納稅者ガ補完稅ヲ納メテ居ルト云フ負擔ニ於テハ、別ニ輕重スルコトガ出來ナイカラ不都合デハナイカト云フ御質問デアリマシタガ、是ハ内務大臣カラ御答辯ニナラウト思ヒマスケレドモ、此度衆議院ニ於テ修正サレマシタル所ノ地方稅ノ法律案、其法律案ニ依リマスレバ、地方稅ノ附加稅ヲ課スル場合ニ於キマシテハ、營業收益稅カラ資本利子稅ヲ控除セザルモノト看做シテ、其稅額ニ向ツテ附加稅ヲ課スルト云フコトニナッテ居リマスカラ、其點ニ於テハ別ニ不都合ハナイト考ヘテ居リマス、第四點ハ營業收益稅ハ現在ノ營業稅ニ對シテ負擔ノ輕減ニナルト云フ政府ノ説明デアルケレドモ、却テ增稅ノ結果ニナルト云フ御疑ヲ以テノ御質問デアッタノデアリマス、其御質問ヲ爲ナルニ當リマシテ、森田君ハ種々ノ統計ヲ御舉ゲニナリマシテ、斯ノ如キ數字ヲ現ハスガ故ニ增稅ニナルト云フ意味ノ御質問デアッタノデアリマス、一局部ノ地方ノ基礎ニ致シマシテ統計ヲ取リマスト云フト、或ハ左様ナル場合ガ生ズルカモ知レスト思ヒマス、又營業ノ場合ヲ考ヘマシテ部分的ニ計算ヲ致シテ比較ヲ致シテ見マスト云フト、或ハ營業收益稅ヲ起シマシタ結果、是マデノ營業稅ニ比較イタシマシテ、負擔ノ増加スル部分ガ有ルデアラウト思ヒマス、併ナガラ全國ヲ平均シテ考ヘ、又總テノ營業ノ業體ニ付キマシテ總括的ノ比較ヲ致シテ見マスト云フト、是ハ政府ノ説明ヲ致シマシタ通り、總額ニ於テ四百十數万圓ノ減額ヲ見ルノデアリマス、何故ニ斯ノ如キ結果ヲ生ズルカト申シマスレバ、是ハ御承知ノ通り、現在ノ營業稅ハ外形標準ニ依テ課稅ヲ致シテ居ル、即チ或ル業體デアリマスレバ賣上金高ニ依リ、又他ノ業體デアリマスレバ資本金額ニ依テ課稅ヲ致シテ居ル、賣上金高ガ同ジケレバ其收益ノ如何ニ拘ラズ、同率ノ課稅ヲ致シテ居リマス、資本ニナッテ居ル結果ヲ生ズルカト申シマスレバ、是ハ御承知ノ通り、現在ノ營業稅ハ外形標準ニ依テ課稅ヲ致シテ居ルト云フコトガ、是ガ即チ現行營業稅法ノ缺點デアリマス、其不公平ナル所以デアリマス、從テ其缺點ヲ改メマスルガ爲ニハ、外形標準ニ依ツテ課稅

スルト云フ根本ノ組織ヲ改メナケレバナラヌ、其組織ヲ改メマシテ、賣上金高ノ如何ニ拘ラズ、資本金額ノ如何ニ拘ラズ、其利益ノ歩合ニ對シテ公平ニ課稅セムトスルノガ、即チ此度ノ營業收益稅法ノ精神デアリマス、從テ是ノ營業稅法ノ適用ニ於キマシテ、賣上金高ハ多カタケレドモ、其利益ノ歩合ガ少カタト云フモノニ對シマシテハ、此度ノ改正ニ依ツテ少イ利益ニ應ジテ課稅シマスルガ故ニ、其負擔ハ輕減サル結果ニナルト思ヒマス、又其反對ニ賣上金高ガ少クシテ利益ノ歩合ガ多カタト云フ營業ニ對シマシテハ、現在ノ營業稅法ノ適用カラ申シマスレバ、賣上金高ガ少イノデアリマスカラ、其營業稅ノ負擔ハ少イノデアリマスケレドモ、此度ノ收益稅法ニ依リマスレバ、賣上金高ノ多少ニ拘ラズ、利益ノ多少ニ依ツテ課稅イタシマスルガ故ニ、其負擔ガ重クナル勘定デアリマス、資本金額ニ於キマシテモ亦同一ノ結果ヲ生ズルデアラウト思ヒマス、是迄ノ稅法ノ規定ト云フモノガ、其營業ノ收益ニ觸レナイ所ノ外形標準ニ依ツテ課稅ヲシテ居ルト云フ、其缺點ヲ矯正スルガ爲ニ、外形標準ノ課稅主義ヲ改メマシテ、茲ニ純益課稅主義ヲ採リマスル以上ハ、從來輕カタモノガ重イ負擔ヲ受ケ、從來重カタモノガ輕イ負擔ヲ受ケルト云フコトハ、是レ即チ納稅者ノ負擔能力ニ應ジテ、公平ナル所ノ課稅ヲスル所以デアリマスカラ、或ル場合ニ於テハ負擔ノ增加スルモノアリ、或ル場合ニ於テハ負擔ノ輕減サレルモノガアルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ザル所ノ結果デアルト考ヘテ居リマス、世間デ往々此度ノ營業收益稅ト云フモノハ、却テ負擔ヲ增加セシムルモノデアルト云フ議論ノアリマスルノハ、其負擔ノ増ス部分ノミニ付テ統計ヲ取ツタモノダラウト思ヒマス、廣ク全體ノ營業ニ付テ、又全國ヲ通ジテ精密ナル統計ヲ取ルト致シマスレバ、即チ政府ノ説明シマスルガ如ク、總額ニ於キマシテ、從來ノ營業稅額ノ負擔ニ對シマシテ、是迄ニ對シテ負擔ガ幾ラ減ル、或ハ幾ラ殖エルト云フ、其基本ヲ決メマスニハ、稅制整理ノ無カタ場合ニ於ケル所ノ、大正十五年度ニ於テ生ズベキ收入、現在ノ制度ノ儘デ行ケバ、大正十五年度ニハ幾ラノ歲入ヲ得ルデアラウカト云フコトヲ、各稅目ニ付キマシテ一々精密ニ計算ヲ致シマシテ、其

計算ニ對シテ稅制整理ヲ行フ結果トシテ、何百万減ル、何千万圓殖エルト云フ計算ヲ出シタノデアリマス、ソレ故ニ若シ或ハ大正十四年度ノ豫算ニ對シ、或ハ十三年度ノ實績ニ對シテ、此度ノ稅制整理ニ依ル所ノ增減ヲ論ジヤウトスルナラバ、ソレハ比較ノ宜シキヲ得タモノデナイト考ヘマス、其增減ノ比較ヲスル場合ニ於テ、ドコ迄モ稅制整理ヲ行ハナカタ場合ニ於テ、大正十五年度ニ於テドレダケノ歲入ヲ生ズベキデアツタカト云フ、其金額ヲ基本ト致シテ、比較對照セヌケレバナラヌト思ヒマス、其對照シタ場合ニ於テ、營業收益稅ハ、營業收益稅ニ改メナカタ場合ニ於テ、大正十五年度ニ於テ現行營業稅法ノ適用ノ結果生ズベキ、其歲入ノ見積リカラ比較イタシマシテ、四百十餘万圓減少スル、斯ウ云フ計算ニナツテ居リマス、是ハ總テノ稅法ニ於テ同様デアリマスカラ、唯今ハ營業收益稅法ニ對スル御質問デアリマスガ、此機會ニ於キマシテ一般的ノ説明ヲ申上ゲテ置ク次第デアリマス、尙ホ營業收益稅ノコトニ關シマシテ、森田君ハ三ツノ數字上ノ調査ヲ御要求ニナリマシタガ、唯今、手許ニ持ツテ居リマセヌカラ、是ハ委員會ニ於キマシテ、能ク調査ノ上デ御答ヲスルコトニ致シマス、第五點ハ、營業收益稅ノ徵稅ノ機關竝ニ徵稅ノ手續ニ關スル所ノ御質問デアツタノデアリマス、此營業收益稅ノ課稅標準タル所ノ營業ノ純益ヲ調査イタシマスルニハ、是ハ別ニ調査ノ機關ヲ設ケル主義デアリマセヌ、是迄ノ所得稅ノ調査委員會ヲ利用イタシマシテ、其調查委員會ノ調査ニ付シマシテ、政府ガ之ヲ決定スルト、斯ウ云フ考デアリマス、何トナラバ、所得稅ニ於ケル所ノ第三種ノ所得ノ調査ト、營業收益稅ニ於ケル所ノ營業收益ノ調査トハ、大體ニ於テ其性質ヲ同ジクシ、其調査ノ方法モ亦同様デアルト考ヘマスルガ故ニ、事柄ノ煩雜ヲ避クルガ爲ニ、同一ノ調査員會ニ於テ、第三種ノ所得稅ノ調査モスレバ、營業收益稅ノ調査モスルト云フコトニ致シタノデアリマス、而シテ其調査ヲスル時ニ於キマシテハ、無論營業者ノ申告ヲ基礎ニ致シマス、當業者ノ申告ニシテ政府ノ調査ト差違ノナイ場合、即チ申告ガ正確ナリト認メタ場合ニハ、固ヨリ其申告ヲ採ツテ調査會ニ出シマス所ノ原案ニ致シマス、其申告ガ正確デナイン、正シキヲ得テナイント認メタ場合ニ於キマシテハ、之ニ向ツテ政府ハ十分ナル所ノ調査ヲ致シマス、其調査ニ基イテ調査委員會ノ議ニ付スルト云フ順序ニナリマス、ソレハ恰モ今日ノ所得稅ノ調査ニ於テ、調査委員會並ニ政府ノ調査機關タル所ノ稅務署ニ於テ行ツテ居ルト云フ、其手續ト同一ノ手續ヲ執リマシテ、調査ヲスル

積リデアリマス、即チ各業體ニ依テ精密ニ其純益ヲ調査イタシマシテ、遗漏ノナイコトヲ考デアリマス、從テ御質問ノ如キ中流以上ノ營業者ニ對シテハ寛大デアルケレドモ、中產階級以下ノ者ニ對シテハ嚴酷デアル、苛酷デアルト云フ如キ嫌ハ、毛頭ナイコトト考ヘマス、又政府ニ於キマシテモ、其調查ノ原案ヲ作リ申告書ヲ調ベル場合ニ於キマシテ、決シテ中產階級以下ニ偏重スルト云フ如キ結果ヲ生ジナイヤウニ、十分注意ヲ拂フ積リデアリマス、第六ノ御質問ハ、營業收益稅ニ於テ、營業ノ收入カラ控除スベキ所ノ必要ナル經費トハ、如何ナルモノデアルカト云フ御質問デアッタノデアリマス、此必要ナル經費ト申シマスコトハ、其營業ノ收入ヲ得ル、ソレガ爲ニ必要トシタ所ノ經費デアリマス、即チ其定義ハ今日ノ所得稅法ニ於キマシテ純益ヲ決定スル場合ニ於テ、總收入カラ其收入ヲ擧グルガ爲ニ費シタ所ノ必要ナル經費ヲ控除スルコトデアリマス、ソレト同一ノ精神デアリマシテ、又同一ノ適用ヲスル積リデアリマス、第七ノ御質問ハ、資本利子稅ニ免稅點ヲ設ケテナインハドウ云フ譯デアルカ、他ノ稅ニ於テハ各免稅點ヲ設ケテアルニ拘ラズ、資本利子稅ニ限テ免稅點ヲ設ケテナイト云フノハ不都合デハナイカト云フ御質問デアッタノデアリマス、御承知ノ通り資本利子稅ハ甲乙ノ兩種ニ分レテ居リマスルガ、是ハ大體ニ於テ源泉課稅デアリマス、即チ資本利子ノ支拂ヲスル、其資本カラ支拂ヲスル時ニ徵收スル所ノ稅デアリマス、ソレハ恰モ今日ノ所得稅法ニ於ケル所ノ第二種ノ所得ト同様デアリマス、即チ源泉課稅デアリマスルガ故ニ、免稅點ノ設ケヤウガナイノデアリマス、此點ハ今日ノ所得稅ノ第二種ノ所得ト同様デアリマス、第八ノ御質問ハ、資本利子稅ニ減損更訂ノ規定ガナイト云フノハドウ云フ理由デアルカト云フ御質問デアッタノデアリマス、資本利子稅ハ今申上ゲマシタ通り、甲乙ノ兩種ニ分レテ居リマスガ、甲種ニ屬スルモノハ源泉課稅デアリマスガ故ニ、減損更訂ノ致シ方ガアリマセヌ、減損更訂ト申シマスレバ、ドウシテモ其個人ニ綜合シタル場合ニ於テ、減損更訂ノ必要ガ生ジテ來マスケレドモ、源泉課稅デアリマスト云フト、ソレハ何人ニ歸屬スベキ收入デアルカト云フコトガ、支拂ヲスル時ニハ分リマセヌカラ、減損更訂ノシヤウガナイノデアリマス、乙種ニ屬スル所ノ資本利子稅ハ、實蹟ニ依ツテ課稅ヲ致シマスルガ故ニ、減損更訂ヲナス必要ス、此山林所得ノ改正ノ方法ニ關シマシテハ、政府ハ種々ナル所ノ調査研究

ヲ遂グマシタガ、昨日モ説明ノ際ニ申上ゲマシタ如ク、何分合理的ニシテ徹底的ナル所ノ方法ヲ發見スルコトガ出來ナカッタノデアリマス、茲ニ於テカ各方面ニ於テ是マデ行ハレテ居リマス所ノ各種ノ議論、各種ノ主張、各種ノ意見ト云フモノヲ、比較研究イタシマシテ、大體此點デアルナラバ先づ相當ノ所ニ歸著スルデアラウト云フコトヲ捉マヘマシテ、大體ノ上カラ原案ノ通り決定シタ譯デアリマシテ、其數字上ノ根據ニ至ッテハ、的確ニ之ヲ申上ゲルコトガ出來ナイト云フコトハ、誠ニ遺憾デアリマスルガ、此場合ニ於テハ、原案ノ外ニハ他ニ適當ナル方法ヲ探ルト云フコトハ、甚ダ困難デアルト考ヘマス、第十ノ御質問ハ、所得稅ニ關シ、營業繼續ノ場合ニ於テ減損更訂ヲナスト云フ規定ガナインハドウ云フ譯デアルカト云フ、御質問デアッタノデアリマスガ、營業繼續ノ場合ニ於キマシテ、減損更訂ヲ認メマスルト云フト、或ハ名義變更等ニ依リマシテ脱稅ヲ圖ルト云フ、各種ノ弊害ヲ生ズル虞ガアリマスニ依ツテ、之ヲ防ぐ爲ニ減損更訂ヲ認ムルト云フ規定ヲ置カナカッタ次第デアリマス、尙ホ多岐ニ瓦タ所ノ御質問デアリマシタカラ、私ノ御答辯ガ或ハ御質問ノ全部ニ十分ニ適合シナイヤノ感ガアリマスルガ、若シ洩レマシタ點ハ又他ノ機會ニ於テ詳細ニ御答ヲスルコトニ致シマシテ、大體ノ御答ヲ致シマス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 森田君ノ地方稅ニ關スル御質問ハ二點アッタノデアリマス、其一ツハ資本利子稅ヲ納メテ居ル營業者ニ對シテ、營業收益稅ニ對シテ附加稅ヲ課スル場合デアリマシタガ、之ニ對シテハ大藏大臣ガ唯今併セテ答辯ヲセラレマシタト思ヒマスカラ、私ハ更ニ繰返ス事ヲ致シマセヌ、今一點ハ家屋稅ノ創設ニ付テ、家屋稅ヲ課スルト云フコトデハ、大地主ト小作人トノ間ニ於テ負擔ガ不公平ニナリハスマイカ、小作人ノ方ガ割合ニ高ク課稅セラレテ、大地主ノ負擔ガ少クナルヤウナコトハナイカト云フコトノ意味デアッタヤウデアリマス、家屋稅ヲ府縣稅トシテ創設イタシマシテ、今マデ府縣ノ持ツテ居ツタ戸數割ト云フモノヲ市町村ニ移シマシテ、是ハ昨日申上ゲタ通リデアリマスガ、府縣ノ戸數割ヲ市町村ニ移シタ其代リニハ、唯家屋稅ダケデハアリマセヌデ、家屋稅ト所得稅ノ附加稅ヲ併セテ府縣ノ財源ニシタノデアリマス、是ノミデアルト申スコトハ出來マセヌガ、大體ハ府縣ノ戸數割ヲ市町村ニ移シマシタ財源ノ代リニハ、大體ハ家屋稅ト所得稅ノ附加稅ト

云フモノヲ持ッテ來タト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、而シテ市町村ニ移シタ戸數割ヲ取ル場合ニ於テ、從前ハ戸數割ヲカケル時ニハ、其標準ノ中ニ住家ノ坪數ト云フモノモ入ルルコトニナツテ居リマシタガ、此度ハ是ハ除カルコトニ致スノデアリマス、サウ云フヤウニシテ考ヘテ參リマスト、戸數割ノ代リニ家屋稅ガ這入ツタノデアルガ、同時ニ所得稅ノ附加稅ト云フモノガ這入ツテ居ル、所得稅ノ附加稅ハ申上グルニ及バズ、一般所得ニ比例ヲシタ稅デアリマスカラ、能ク其人ノ資力ニ順應シテ居ルト云フコトハ申上グル迄モアリマセヌ、而シテ市町村ニ於ケル戸數割ノ中カラ住家ノ坪數ト云フモノヲ除キマシタコト相對照シテ、一方ニ於テ府縣ニ於テ家屋稅ヲ取ルト云フ事柄ハ、家屋稅ノ負擔ト云フモノヲ從前モ既ニ戸數割ノ中デ住家ノ坪數ト云フコトデ、矢張リ或程度マデハ家屋稅的ノ課稅ガシテアツタノデアリマスカラ、ソレガ今度純然タルモノニナリマシテモ、大體從前ノ課稅ノ仕方ノ方針トハ大シテ變ハラヌト云ゾテ、宜カラウト思ヒマス、但シ戸數割デ取リマス時ノ標準ハ、全體ノ戸數割ノ一部デアリマスガ、家屋稅トシテ全部家屋ノ賃貸價格デ課稅シマス時ニハ、若干從前ヨリモ各人ノ負擔ノ關係ガ變ハルコトハ認メナケレバナリマセヌ、併シ家屋稅ハ唯坪數ダケデ取ルノデハアリマセヌ、其在場所ノ關係モ大イニ影響シマス、又家屋ノ構造ニ大イニ影響スルノデアリマスカラ、必シモ坪數ニ依ツテ取ル故ニ、小作人ハ割合ニ多イ坪數ヲ持ッテ居ルカラ負擔が不公平ニナルト見ルニ及バヌト思ヒマス、ノミナラズ地方稅ノ負擔ノ上ノ全體ノ均衡ト云フノハ、總テノ課稅ヲ綜合シテ見ナケレバナリマセヌ、家屋稅一ツ離シテ見ル譯ニハ參リマセヌ、家屋稅モ一ツノ課稅デアルガ、戸數割モアリ、所得稅ノ附加稅モアル、サウ云フメヲ皆綜合シタ時ニ於テ、各人ノ負擔ガ如何ニ相成ルカト云フコトヲ見ヌケレバナリマセヌガ、総合シタ上カラ云ヘバ、矢張リ富者ニハ富者相當ノ課稅ヲシ、貧者ニハ貧者相当ノ課稅ヲスルト云フヤウニナツテ、其間ニ換稅力ニ應ジタ課稅ニ相成ツテ居ル、今回ノ家屋稅ノ創設ナルモノガ、決シテ負擔ノ公平ヲ失フモノデナイト考ヘテ居ルノデアリマス

○森田福市君 唯今、大藏大臣ノ御答辯ニ依ルト、詳細ナ點ハ他ノ機會ニ於テ答辯スルト云フ御答辯デアリマシタカラ、私ハ強ヒテ追究イタシマセヌ、唯御答辯ノ中ニアリマシタ中ニ、私ノ御尋ネシタノト、當局ノ御答辯トハ、チヨット相違ヲシテ居ルノデアリマス、資本利子稅ニ對シテ地方稅ノ附加稅ヲ課スルノニハ、衆議院ニ於テ修正ニナツテ居ル通り、全部ノ本稅ヘ附加稅ヲ掛け置キヲ願ツテ、御答辯ガ戴ケレバ結構デアリマスガ、御答辯ニナリマセネバ、後トカラデモ、亦他ノ機會ニデモ宜シウゴザイマス、今日ノ質問者ハ澤山アルノデアリマスカラ、之ニ付テ伺ヘレバ結構デアリマス、唯、此點ハ能ク御考へ置ラヌト思フノデアリマス、ソレカラ必要ノ經費ノ點ハ收入ヲ得ル爲ニ要スル經費デアル、是ハモウ能ク分ツテ居ル、收入ヲ得ルニ必要デアルト云フノハ、ドノ範圍ヲ指スカト云フコトヲ、私ハ具體的ノコトヲ質問シテ居ルノデ、家庭ニ要スル經費一般ヲ含ムヤ、否ヤ、其家ノ家事費デアリマス、詳細ニ申上ゲマスレバ必要經費ニ是ハ含ムベキモノデアラウト思フノデアリマス、從業家族ノ人ヲ、假ニ月給ヲ、即チ給料ヲ定メテスルノデアルカ、ドウカト云フ、具體的ノ御尋ヲ申上ゲタノデアリマス、ソレカラ一局部ノ統計ヲ示シテ増徵デアルト云フノハ當ヲ得テ居ラヌ、全國一般ヲ通ジタラ、營業稅ヨリモ營業収益稅ガ減ズル、斯ウ云フ御答辯デアツタノデアリマスガ、是ハ確ニ前年度ニモ、大正十四年度ノ第一種ノ所得及八月三十一日ニ決定シタ中ノ個人ノ商工業ヨリ得タル所ノ第三種所得等ヲ合シタモノノ所得金額……數字ヘ掛ケタ……率ヲ掛ケタ所ノ金額、六大都市ノ法人ノモノ、或ル一町内ノモノ、三ツニ分ケテ御尋ネシタノデアリマシタカラ、結局、一局部トハ申サレマセヌト考ヘルノデアリマス、全部ヲ舉ゲテ……小中大ト云フヤウニ舉ゲテ、全部ノ統計ヲ舉ゲテ御尋ネシタヤウニ心得テ居ルノデアリマス、其他ノ事ハ餘り詳細ニ涉リマスカラ、他ノ機會ニ本員モ讓ルコトニ致シマス、尙ホ意見ニ涉ルトハ申シマセヌ、今ノ事ダケハ念ノ爲ニ申上ゲテ置ク次第デアリマス

〔國務大臣濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(濱口雄幸君) 最後ノ御質問ニ御答ヲ申上ゲマス、第一ニ營業収益稅デアリマシテ、資本利子稅ヲ國稅トシテハ控除スルニ拘ラズ、地方稅ヲ掛ケル場合ニ於テハ、控除セザルモノト看做シテ、附加稅ヲカケルト云フコトヲ申上ゲマシタコトニ對シマシテ、ソレハ乙種ニ付テハ適用ガ出來ルカモ知レヌガ、甲種ニ付テハ適用ガ出來ナカラウト云フ意味ノ御質問デアリマシタガ、左様ナコトハアリマセヌノデ、甲乙何レニ拘ラズ、其法人カラ控除シ

タル所ノ資本利子稅額デアリマスカラ、ソレヲ控除セザルモノトシテ、元ヘ戻スコトハ出來ル譯デアリマス、其御心配ハアルマイト思ヒマス、第二點ハ、必要ノ經費ヲ控除スルト申シマシタコトニ對シテ、家族ノ生活費ハ其必要ノ經費ノ中ニ入ツテ居ルカト云フ御質問デアリマスルガ、必要ノ經費ト申シマスルノハ、其事業ヲスルニ付テ……其收入ヲ舉ゲルニ付テ要シタ所ノ經費デアリマスガ、家族ノ生活費ハ必要ノ經費ノ中ニハ入レナイ、是マデノヤリ方ニナツテ居リマス、此度ノ必要ノ經費ト申シマスコトモ、其本人及家族ノ生活ニ要スル經費ハ控除シナイ積リデアリマス、第三ハ、御質問デハナカツタヤウデアリマスルケレドモ、全國ノ統計ヲ綜合シテ調査ヲ致シマシテ、サウシテ此度ノ營業收益稅ニ依ツテ得ベキ所ノ收入金額ト、營業收益稅ヲ起サズシテ營業稅ヲ此儘十五年度ニ於テ施行スベキ場合ニ於テ、商工業者ノ負擔スベキ所ノ金額トヲ比較イタシマスレバ、是ハ明カニ四百十餘万圓ノ負擔輕減ニナルト云フ統計ガ現ハレテ居リマスカラ、何レ其詳細ノ數字ハ委員會等ニ於キマシテ十分ニ説明ヲ申上ゲルコトニ致シタイト思ヒマス

○森田福市君 モウ御尋不申上ゲマセヌ積リデアリマシタガ、第十五條ノ資本利子稅ノ甲種ニ付テノ附加稅ニ於テ御引去リニナルコトハ困難デハナイカト言ヒマシタガ、唯今、大藏大臣ノ御答辯デハ何等困難デヤナイ、矢張リ附加稅ヲ課スルコトガ出來ルト、斯様ニ御答辯ニナツタノデアリマス、デ、已ムヲ得ズ御尋不シテ見ルノデアリマスガ、甲種ノ資本利子稅ニ付テハ「其ノ金額支拂

ノ際支拂者其ノ資本利子稅ヲ徵收シ」トアルノデアリマス、サウ致シマスト、衆議院デ附イテ居リマス所ノ、所謂修正ニナリマシタ案ニ付テ、大藏大臣カ、内務大臣ノ許可ヲ受ケタ場合ニ、資本利子稅ニ付テノ地方稅ヲ徵收スルコトガ出來ルト云フコトデアツテ、恰モ其府縣ガ許可ヲ受ケテ居ツタ場合ニ、其府縣ガ大藏内務兩大臣ノ許可ヲ受ケテ附加稅ヲ取ルト決マリマシタナラバ、納稅者ハ必ズ他ノ府縣ニ持ツテ行ツテ預金シ、或ハ公債、社債ノ利子ヲ受取ルコトガ簡単ニ出來マス、是ハドウシテモ甲種ノモノニ對シテ附加稅ヲ掛ケラレルト云フコトハ、是ハ出來得ヌコトチャナイカト思ツテ御尋不シタノデアリマス、大藏大臣ハ極々簡單ニ出來ルヤウニ御答辯ニナリマシタガ、本員トハ意見ガ相違シテ居ルヤウニ思ヒマス、今少シソレヲ御考ヘヲ願ヒマス

〔中村純九郎君演壇ニ登ル〕

○中村純九郎君 私ハ稅制整理ニ付テ政府ニ御尋ヲ致シタウ存ジマス、私ハ不斷考ヘテ居リマスルノニ、租稅問題ハ衆議院ノ審議ヲ通過シテ貴族院ニ廻付セラレタル場合ハ、宛モ豫算先議權ガ憲法上衆議院ニ付與セラレタヤウニ、之ニ對シテハ特別ノ敬意ヲ拂ヒ、格別ノ遠慮ヲ加ヘテ審議セナクチヤナラヌモノデアルト信ジテ居リマス、彼ノ憲法政治ノ模範國トモ申シマスル英國ニ於テハ、租稅ニ關スル法案ハ矢張リ下院ニ先議權ガアルモノトシテ取扱ハレテアルト云フコトヲ記憶致シテ居リマス、我ガ貴族院ノ先例ヲ取調べタルコトハゴザイマセヌガ、蓋シ衆議院ニ先立ツテ租稅法案ガ審議セラレタ例ハ是ナキコトカト存ジテ居リマス、然ルニモ拘ラズ、此度稅制整理案ニ付キマシテ、疑ヲ懷キマスルノハ、サウシテ其疑ヒマシタ所ノ點ハ衆議院於テハ餘リ論議セラレナカツタカノヤウニ存ジマス、其事ガ苟モ我ガ國體ノ精華ヲ傷ケハセナイデアラウカ、我ガ風教ヲ害スル虞ハナイデアラウカ、我ガ立

派ナル歴史ノ蹟ヲナクシハシナイデアラウカト云フ心配ノ末カラ敢テ御尋ヲ致ス譯デゴザイマス、第一ハ地租條例ニ付テ御尋ヲ致シマス、政府及ビ近來ノ政黨ノ諸君ハ、今日ノ農村ノ衰頽ヲ救濟スルノ情切ナルガ爲メ、農村振興ヲ策スルニ一日モ急ナルヲ感セラレタル熱心ノ爲メ、田畠ノ地租ヲ或ハ町村ニ委譲セラレルガ宜シイト、斯ウ云フ論モゴザイマス、或ハ自作農者ノ田畠ノ地租ヲ免ズルガ宜シイ、斯ウ云フ論モゴザイマスル、政府ノ提出案ハ御承知ノ通リ新タニ免稅點ヲ設ケラレマシタ、サウシテ二百圓以下ノ地租ヲ免ズルト云フコトニナリマシタ、免稅點ヲ設ケタルコトヲ、營業稅ヤ所得稅ノ如ク同ジク同様ニ取扱ハレタカノヤウニ感ジマスル、抑我ガ國ニ於ケル地租ト云フモノハ……地租ハ外ノ稅デハアリマセヌ、地租ニ限ツテハ、他ノ租稅トハ格別趣ヲ異ニシマシテ、悠久ノ歴史ヲ有テ居リマス、蓋シ神代ヨリ傳ハッタモノカト存ジマスル、謹ンデ按ズルニ我ガ天祖ノ天孫ニ下シ給ヒシ神勅ニ「豐草原ノ瑞穂ノ國ハ是レ我ガ子孫ノ王タルベキノ地ナリ」云々トゴザイマスル、此頃ヨリシテ我ガ臣民ノ義務トシ、又誇リトシテ國家ニ貢獻シ來ツタモノト存ジマス、勿論時代ニ依リ、其輕重厚薄ノ差ハゴザイマセウ、又鎌倉時代以來ハ、武人豪族ノ收斂スル所トナツタ時代モゴザイマスガ、連綿トシテ國家ニ奉仕スルノ務トシ、國家ノ公費ヲ負擔スルノ公務ヲ盡スノ本分トシテ、渝快ニ奉納スルヲ光榮トシテ來タモノト存ジマスル、地租ヲ納ムルノ義務ハ丁度兵役ノ義務ノヤウナモノデ、同時ニ權利トシ、榮譽トシテ盡シ來ツタモノト信ジマスル、故ニ日本臣民ガ地租ヲ納ムルコトハ、君民ノ關係ヲ結ビ、君臣ノ義ヲ明カニスル所ノ標識デアルト存ジマスル、恰モ西歐諸國ニ於ケル彼ノ人頭稅ノ如ク「ボールタックス」、「タックス・オブ・カビターシヨン」ト云フガ如キモノカト存ジマスル、我ガ列祖列聖ノ御代々ニ於カセラレマシテモ、農民ノ疾苦ヲ収慮ニ掛ケサセラレテ、稼穡ノ艱難ヲ知シ召シ給ヒシハ數渺カラズゴザイマス、其一二ノ例ヲ申上ゲマスレバ、聖武帝ノ天平九年ニ地租ヲ免ズルノ詔ガアリマス、元明帝ノ朝ニハ旱魃ノ末、雨ガ降ツタラバ、其雨ヲ賀ビ給ウタ詔ガ下ツテ居リマス、稱德帝ノ朝ニハ天平神護元年ニ正稅ヲ免ズルノ詔モゴザイマス、降ツテ弘仁五年ニハ又是ハ反對ニ豐穂ヲ欣ビ給ウタ詔モ下ツテ居リマス、近世ニ至リ、明治六年ニ地租改正ノ折ニハ、地租ヲ地價百分ノ三ニ減ズ

ルト云フコトニナツテ、其時ノ政府ノ聲明ニ、是ハ地價百分ノ三ニシテ置クガ、他日物品稅ガ發達シタル時機ニナツタラバ百分ノ一マデ下グルゾヨト云フ聲明ヲセラレテアリマス、明治十年一月ニハ更ニ地價百分ノ三ヲ地價二分五厘ニ減ゼラレタ時モ詔勅ガ下ツテ居リマス、又歷代天皇ノ御製ニカカル詩ヤ歌ノ中ニハ農民ノ疾苦ニ同情ヲ垂レサセラレマシテ、サウ云フ詩歌ハ少カラズゴザイマス、殊ニ明治天皇ノ御製千四五百首ノ數多キ中ニ農村ノ實情、農民ノ疾苦ノ狀ヲ懸セラレタル御製ハ最モ多ク拜誦イタス所デアリマス、其二三ヲ奉誦イタシマス「暑シトモ言ハレザリケリ煮エカヘル水田ニ立テル賤ヲ思ヘバ」「窓ノウチニ扇トリテモ暑キ日ニ照ル日ヲウケテ賤ガ草取ル」「ヲサナ兒ヲハグクミナガラ田ニ畠ニイソシム賤ノイトマナグナル」「早稻晚稻ノコルカタナク植エハテ、賤モ田中ノ神祭ルラシ」「豊カナル年ノ初穂ヲサ、ゲツ、賤モ縣ノ神ヲ祭ラン」「降ルニツケカルルニツケテ思フ哉我ガ民草ノ上ハイカニト」澤山數ガゴザイマセウ、洵ニ九重雲深キ所ニ在ラセラレマシテ、ドウシテ斯ウ云フ大御心ヲ斯クモ農民ノ狀ニ垂レサセラレマセウカト云フコトヲ思フ時ニハ、實ニ辱ナク感涙ヲ催ス次第ゴザイマス、謹ンデ案ズルニ宮中ニ於カセラレテ、毎年行ハセラル所ノ祈年祭、又各府縣ノ官國幣社ニ於テ行ハセラル所ノ祈年祭、是ハ其年ノ豐年ヲ祈願スルト云フ意義アル祭典ゴザイマセヌカ、其秋ニ至リマスト、新嘗祭、神嘗祭ト云フヤウナコトヲ行ハセラレマス、是ハ其年ノ豐年ノ報告祭ヲ意味スルモノト存ジマス、而シテ其神明ニ供セラル御饌米ハ、適當ノ自作農者ニ仰付ケラレ、其自作ノ耕作者ハ之ヲ無上ノ光榮トシ、齋戒沐浴シテ、此御饌米ヲ耕作シテ、奉納スルト云フコトヲ承ツテ居リマス、是等ノ典禮ハ洵ニ君民一體トナリマシテ、此瑞穂ノ國土ヲ利用シ、豐年幸福ヲ祈ルト云フ、洵ニ外國ニ絶エテ無キ珍シキ美シキ歴史デアルト存ジマス、又畏クモ天皇御卽位ノ大典ニ於テ舉行アラセラル大嘗會ノ式典ニ御神饌ヲ供スルノ爲ニ、良田ト良民ト兩方面ヲ選擇アラセラレテ、悠紀田主基田ノ設ケガアルト云フコトハ、是ハ諸君モ御派ナル美ハシキ史蹟ヲ廢滅シテ、農民ノ光榮アル義務ヲ廢棄セムトスルノデ承知ノコトト存ジマス、然ルニ此度ハ免稅點ヲ設ケテ自作農者ノ田畠租ヲ全免スル、全ク免ジテ仕舞フト云フコトハ、是ハ君臣一體タル此史蹟ヲ……立出來マスカ、國家ハ誰ニ命ジテ此古式ノ大典ニ缺クベカラザル悠紀田主基田

ヲ耕サシメラルデゴザイマセウカ、普通選舉ハ臣民翼賛ノ道ヲ廣メ政治上ノ國民總動員デ、國民ヲ舉ゲテ國家ノ重キヲ負擔スル光榮アル義務ト權利トヲ有セシメタルモノト存ジマス、是マデハ知ラヌコト、普通選舉モ行ハレテ……普通選舉モ制定セラレタル時代ニ於キマシテハ、租稅ノ改廢等ヲ計ルニモ宜シク從來ノ考ヲ改メテ、能ク此臣民タル者ノ自負心ト自尊心ト云フコトヲ尊敬シテ考慮ヲ加ヘナクチヤナラヌコトト存ジマス、昔ノ獨裁君主ガ賤民ヲ憐レムト云フヤウナ氣持デ、廢減ヲ行ハムト致シマシタナラバ、見方ニ依テハ、是ハ臣民ヲ却ツテ侮辱スルノ觀ガアリハシマセヌカ、今日ノ自作農諸君ハ減稅ハ固ヨリ希望スル所デゴザイマセウ、併ナガラ全部ノ免稅ヲ冀ウテ國家ノ救助ヲ仰グト云フ者ハ、蓋シ一人モナカラウト存ジマス、私ハ地租輕減ノ聲ハ久シキ前カラ聞キマス、又地租ヲ輕減シテ、地價百分ノ三ヨリ一ニ下スト云フコトハ、明治初年以來ノ理想デゴザイマス、自作農者ト小作人トノ生活狀態貧富ノ程度等モ稍似寄タモノデゴザイマシテ、斯ノ如ク其自作人即チ地主トハ申シナガラ、其自作人ニ免ズルト云フコトハ、寧ロ小作人ニ走ラシメテ却テ小作爭議ノ勢ヲ助ケ、階級鬭爭ノ助勢ヲスルヤウナ結果ニ陥ラゴザイマス、即チ現行地價百分ノ四半ヲ百分ノ一ニ下シテモ宜シイ、百分ノスカト云フコトヲ心配イタシマス、斯ク申ス私モ、自作農者、即チ自ラ未耕ヲ執ツテ稼穡ノ艱難ヲ嘗ムルノ自作農者ニ限テハ、田畠ノ減租ハ最モ冀フ所デゴザイマス、即チ現行地價百分ノ四半ヲ百分ノ一ニ下シテモ宜シイ、百分ノ五厘ニ下ゲテモ不可ナカラムト信ジマス、殆ド免稅ニ近キ點マデ引下ゲラレムコトハ最モ希望スル所デゴザイマス、然レドモ全然免除スルト云フコトハ、前申ス通リニ自作農者ノ却テ失望スル所デアリハセナイカト云フコトヲ恐レルノデゴザイマス、地價百分ノ四箇半ヨリ節約シテ無稅ニスル、如何ニモ急激ノ改正デハゴザイマスマイカ、幾度モ申ス通リ我國ノ地租ハ古キ歴史ヲ有シテ居リマシテ、他ノ所得稅營業稅等ノ取扱ト同ジクスルコトガ出來ナイモノデアラウト思ヒマス、私ハ幾ラニ下グロト云フコトハ主張イタシマセヌ、唯此自作農者ノ光榮トシ義務トシテ繼續シ來タ所ノ其美風ハ、歷代ノ列聖ガ御心配遊バシタ所ノ其美シキ情トシテ長ク續ケテ置クモノデアルト云フコトハ、固ク信ズルモノデアリマス、斯ク申シタラバ大藏省ノ諸君ハ、低率ノ田畠地租ヲ存置シテ置イテハ徵稅上ノ事務ガ煩雜ニナリ、土地ノ丈量モ、地價ノ修正モ、地目ノ變換、分合筆ノ手數、土地臺帳ノ整理等中々事務錯雜デ人員ト費用ヲ要シテ、徵稅費ハ多額トナツテ却テ得ル所ハ失フ所ヲ償ハヌ、斯ウ

云フコトヲ大藏省邊ハ答ヘルカモ知レマセヌ、誠ニサウデゴザイマセウ、ケレドモ他ノ租稅ナラバ格別、地租ハ前申シタ通リニ、我國古代カラ歷史的君民同治ノ標準デゴザイマシテ、床シキ此美風ハ存セナケレバナラヌカラ、啻ニ算盤ニ依賴シテ制定スルモノデハナク、算盤上ノ得失ハ忍シテ之ヲ保續シテ戴カナケレバナラヌモノデハナイカト云フコトヲ感ジマス、第二ハ此度稅制整理ノ結果廢減稅ニ因テ生ジタ歲入ノ不足ヲ補充センガ爲ニ新稅ヲ起シ、又ハ舊稅率ヲ高メラレタ廉ミガ少カラズゴザイマス、其中ニ付テ他ニ課稅物件モアリマシタラウニ、相續稅ノ累進率ヲ引上ゲラレマシタノハ、誠ニ一驚ヲ喫シタノデゴザイマス、抑、稅制ノ整理ト云フ以上ハ、成ルベク正義ニ適ヒ成ルベク徵稅費ノ少クシテ收入ノ多キ種類ヲ求メ、成ルベク逋稅ノ少クシテ納稅者ノ納稅能力ノ裕ナルモノヲ選ンデ、加フルニ社會政策モ加味スルト云フヤウナコトハ結構デゴザイマス、即チ此度ノ交通稅ノ廢止、賣藥印紙稅ノ廢止、醬油稅ノ廢止ノ如キハ、是ハ惡稅廢止ト云フ、御主意モアツタカト存ジマス、私ハ平素存ジテ居リマスガ、彼ノ相續稅ト云フモノハ、西歐諸國ニ於テハ人心……人ノ良心ヲ刺戟スルコト、衝動スルコト甚シクナイカモ知レマセヌガ、我國ノ如キ家族制ヲ重ンジ、祖先ヲ崇敬シ、醇朴質實ノ風ヲ尊ンデ、孝悌忠信ノ教ノ盛ナル國風ニハ、甚ダ宜シクナイ租稅デアルト思ヒマス、ケレドモ此創設セラレシ時機ハ、丁度明治三十八年一月日露戰爭ノ正ニ酣ナル時デアリマシテ、租稅ノ外ニ國民ハ國力ヲ舉ゲテ是非戰ニ勝タネバナラヌト云ウテ、有ラム限リノ力ヲ盡シ、財アルモノハ財ヲ盡シテ、其時ハ租稅ノ外ニ祖先傳來ノ寶物、金塊、小判、大判ナドト云フモノヲ政府ニ獻納シタル篤志ノ諸君ガ續々ゴザイマシタ、斯ウ云フ時機デゴザイマスカラ、何モ國風遺俗ヲ顧ルノ遑ナイトデアリマス、ソレデ逋稅ノ最モ少ク徵收モシ易ク、收獲モ裕ナルト、且又西歐ニ……歐洲諸國ニモ先例ガアルモノデゴザイマスカラ、新ニ東洋ノ我國ニモ之ヲ採用セラレタ租稅デゴザイマセウガ、早晚是ハ廢止セラレルカ、減稅セラルベキモノト窃ニ信ジテ居リマシテ、此度ノ稅制整理ニハ、必ズ廢減セラルベキモノト期待シテ居リマシタ、何ゾ圖ラン、廢減セラレル所カ、却テ累進率ヲ引上ゲラレタルト云フコトハ、意外千萬デゴザイマス、前回ノ改正ニハ、直系卑族ノ相續稅等ニハ稍、稅率ヲ緩和セラレタノデゴザイマス、然ルニ此度ハソレヲ引上ゲラレタ、聞ク所ニ依レバ、西歐諸國、歐洲諸國ハ羅馬時代カラノ遺物デアル相續稅ヲ存シ、逋稅ノ憂ガ少キ故、所

得稅ノ補完トシテ重寶ナル租稅トシテ、財政家等ハ主張セラレルサウデゴザイマス、西歐諸國ノヤウニ父子夫婦兄弟親族ト云フ、此父子夫婦親族間ノ死ヲ待ツテ其遺產ヲ受ケルヲ喜ブト云フヤウナ、薄情冷淡ナ風俗ト、我ガ忠孝貞節ノ情誼ヲ重ンズル風尙美風トハ、國柄ガ違ヒマス、同日ニ論ズベキモノデハゴザイマセヌ、其忠孝節義ヲ重シトセズト申ス國デモ、「ブロイゼン」ハ直系皇族ノ相續稅ハ免除シタル筈デゴザイマス、況ヤ東洋ノ君子國ト稱セラル我國殊ニ教育勅語ヲ奉戴シテ居ル所ノ我國ノ國風ニ、斯ノ如キ、適ハナ系及夫婦間ノ相續稅ハ免除イタシマシタ、英國モ亦千八百八十一年ヲ以テ、直系皇族ノ相續稅ハ免除シタル筈デゴザイマス、況ヤ東洋ノ君子國ト稱セラル我國殊ニ教育勅語ヲ奉戴シテ居ル所ノ我國ノ國風ニ、斯ノ如キ、適ハナイ所ノ租稅ヲバ其儘ニシテ、減廢ヲ圖ラヌト云フコトハ、政府ノ眞意何處ニ在ルカト云フコトヲ疑ヒマス、人ノ子タル者其父ヲ喪フ、不幸焉ヨリ大ナルハナシ、人ノ妻タル者夫ニ死別ヲスル、悲慘焉ヨリ甚シキハナイ、父死シテ未ダ葬ラズ、國家ハ其不幸ニ附込ミ莫大ナル租稅ヲ課スル、夫ヲ喪ウテ墓木未ダ新ニ、悲慘ノ涙未ダ乾カザルニ、國家ハ此遺產ノ一部ヲ沒收スル、何罪ガアツテ此遺產ヲ沒收シマスカ、私ハ之ヲ沒收ト云フ、何故ナラバ……私ハ之ヲ課稅ト云ハズシテ沒收ト申シマス、所得ノ生ズル源泉ヲ奪フノハ沒收デナクテ何デゴザイマセウ、凡ソ人ノ骨肉親子ノ死亡ヲ傷ムニ、貧富老少ノ差ハゴザイマセヌ、試ニ改正ノ課稅額ヲ、二十万圓以上ノ家督相續ニ付テ見テ見マスト、其價額ノ百分ノ五、其價額ニ對スル百分ノ五、即チ五分ヲ稅率トシテゴザイマス、ソレハ段々累進シテ價額ノ増進ニ遞次累進シマシテ五百萬圓ヲ超ユル價額ニ對シテ百分ノ十三、即チ一割三分ヲ課セラレルコトニナリマス、到底納稅者ノ一箇年内ニ其財產ヨリ所得ヲ得ベキ金額デハゴザイヤセヌ、政府モ亦之ヲ豫期シテ居リマス、現行ニモサウデゴザイマス、其第十七條ニ於テハ年賦延納ヲ許ストアリマス、即チ一箇年ノ……財產ヨリ一箇年間ニ所得シ能ハヌト云フコトハ、政府モ豫期シテ居ル、ソレデ年賦延納ヲ許シテ臣民ノ擔稅能力ト云フモノハ、其一年間ノ所得ヲ以テスベキハ、是ハ許シテ居ル、其年賦ニ依ルモノハ、此度ノ改正案ニ於テハ其「タリフ」ヲ上ゲタル代リニ、年賦延納ノ五箇年ヲ七箇年ニ延長シテ居リマス、凡ソ租稅ノ原則トシテ臣民ノ擔稅能力ト云フモノハ、其一年間ノ所得ヲ以テスベキハ、是ハ言フマデモナイ、一年間ニ納入セザレバ國稅法ノ滯納處分ヲ受ケテ、其滯納處分ニ依ツテ其年ノ納稅義務ヲ終了スル、彼ノ個人間ノ債務ノ如ク、永續的ニ入シ能ハザルコトヲ豫知シナガラ課稅スルト云フコトハ、是レ納稅ニ非ズシ

テ沒收ト云フ外ハナイノデアリマス、何トナレバ財產ノ幾分ヲ賣却スルカ、獻納スルニアラザレバ、其相續稅ト云フモノハ完納スルコトハ出來ナイ、古ヨリ明君賢相ガ往々ニシテ刀筆ノ吏、屬吏小人ニ誤ラレタルト云フ例證ハゴザイマス、大藏省邊ハ其職務ニ熱心ナル餘り、單ニ計數上ニ重キヲ置イテ、此國家ノ大本、綱紀ノ維持ト云フコトニ思テ致サナカツタノデハアルマイカト云フコトヲ心配シマス、併シ國務大臣タル大藏大臣ハ天皇輔弼ノ大任ヲ帶ビテ居ラシヤイマス、帝國ノ大體ヲ能ク通觀シテ政務ヲ執ラレル、大藏省屬僚ノ人ニ蓋シ超越シタルモノガナクテハナリマセヌ、殊ニ若櫻内閣ハ院外ニ於テデハゴザイマシタケレドモ、正義公道ヲ以テ一枚看板トシテ進ムト云フコトヲ、聲明セラレテアルコトデアリマス、以上二箇ノ不都合ナル租稅ハ計數上ニハ餘リ大イナル差異ヲ生ゼナイモノト信ジマスカラ、ドウカ此悖理的ノ稅制ハ改正セラレテハ如何デアリマセウカ、又此稅法ヲ稅制整理ノ機會ニ於テ整理セラレルノ御考ハゴザイマスマイカ、敢テ問フ、第三ニハ租稅ノ賦課ヲ圖ルニハ其轉嫁ノ歸スル所如何ト云フコトヲ顧ミルハ是ハ言フヲ俟タナイ、新稅ヲ起シ、又ハ增稅ヲ爲ス時ニハ、其轉嫁ハ直チニ消費者、利用者ニ歸スベキト云フコトハ、是ハ經濟上ノ法則デゴザイマス、從ツテ物價ガ變動ヲ來スト云フコトハ必然デアリマス、例ヘバ增稅ノ場合ニ於テ、酒造稅ガ增シタナラバ一升一圓ノ酒ハ明日ヨリ一圓五十錢ニナル、清涼飲料ニ課稅セラルレバ「サイダー」「ショロン」ノ一壜ノ價ガ二十錢ナラバ忽チ二十五錢三十錢ニナルコトハ、經濟上ノ數理上已ムヲ得ヌコトデアリマス、然ルニ減廢稅ノ場合、減廢稅ノ場合ハ若干時間ハ其減廢ノ餘澤ニ潤ハナイト云フコトガ、實例ノヤウニ存ジマス、濱口大藏大臣ハ交通稅ヲ廢シタル結果、汽車貨、電車貨ヲ引上グルガヤウナ公共團體、若クハ個人ノ交通營業者ニ對シテハ、適當ノ方策ヲ講ズルト言ハレマシタデゴザイマスガ、醬油稅ナリ、織物稅ナリ、賣藥稅ナリノ後始末ニ對シテハ同様ニ矢張リ適當ナル方策ヲ講ゼラレルデゴザイマセウカ、此法律規則ヲ以テ租稅轉嫁ノ具合、經濟上ノ增稅カラ來ル、租稅轉嫁ノ具合ヲ法律規則ヲ以テ定メルト云フコトハ如何デゴザイマセウカ、果シテ如何ナル方策ヲ以テ、之ニ臨マレルカラ敢テ問フ、第四ニハ抑、此度ノ稅制整理ヲ爲スト云フニハ、國庫ノ收入ノ増減ヲ來ザル範圍ニ於テ計畫セラレルト云フコトデゴザイマスガ、之ヲ財政學者ニ聽キマスルニ、稅ト云フモノハ惡稅デモ其「タリフ」ガ低ケレバ、必ズ惡稅デモ久シキニ瓦ツテ施行シ

タルモノナレバ、轉嫁ヲ動カサナイカラ、安定ヲ圖ル爲ニハ据エ置イタ方ガ宜シイ、斯ウ云フノガ財政學者ノ云フ所ノヤウデアリマス、凡ソ事物ノ整理ト云フモノハ、一二ハ多數ヲ統一シテ複雜ヲ避ケル、惡シキモノヲ淘汰シテ良キモノヲ殘ス、減廢ヲ行ツテ新規ノ租稅ヲ起サナイナドト云フヤウナコトデゴザイマセウ、然ルニ此度ハ約十有六種中ニ減廢シタル稅種ガ約八種バカリヲ有シ、新設又ハ增稅シタル稅種モ亦八種バカリアルヤウデス、然ラバ即チ稅目ニ於テモ餘リ増減ガナイ、稅額ニ於テモ増減ナシト政府ハ言ハレル、之ヲ敢テ整理統一セラレタト云フコトハ、何所ニ付テ言フモノデゴザイマセウカ、是レノミナラズ國稅ノ改正ト同時ニ、地方稅ノ特別稅トカ、市町村ノ所得稅ノ附加稅ヲ府縣ニ委譲スルトカ、隨分新舊混淆、混雜ヲ來シテ居リマス、稅制整理ハ或ハ恐ル、却テ一時ノ稅制ノ混亂デハナイカ、延イテ物價ノ攪亂ヲ來シハシナイカト云フコトヲ心配シマス、第五ニハ相續稅法改正ノ附則デアリマス、抑モ稅法ノ改正ニ付テハ、稅法ノ改正ニ依リ人民ノ負擔ニ輕重厚薄ヲ來スノ結果トナルコトガアル、茲ニ於テ過渡的ニ新舊ノ負擔ヲ比較考量シテ其輕キニ從フト云フコトハ、是ハ立法上妥當ナルコトト存ジマスル、刑法改正ノ際ニ於テ新舊ノ刑罰ヲ比較考量シテ、其輕キニ從ハシムルト云フコトハ、是ハ立法者ノ妥當ナル考デアルト信ジマス、然ルニ改正相續稅法ノ施行前ニ相續ヲ開始シテ居テ、未ダ納稅濟ニナラザルモノデ免稅點ニ達シタモノモアリマセウ、新法ニ從ツテ是ハ免稅セシムベキモノト存ジマス、又第七條ニ依ツテ五年ノ年賦延納ヲ許可シタル者モ、新法ガ七年間ノ延納ヲ許シテ居リマスカラ、七年ノ延納ヲ許可シテモ宜シカラウト思ヒマス、是等ノコトハ唯徵稅上ノ便宜ヲ慮テ納稅者ノ便否ヲ顧ミナイ、洵ニ不親切ナル立法デハナイカト云フコトヲ窮ニ憂フルノデアリマス、相續ガ開始シテモ三箇月間ハ納稅セザルコトヲ得ル、故ニ免稅點ヲ引上ゲタル者ハ、稅金ノ既納ノ分ハ格別デスガ、納金ノ既納ニ非ザル限りハ之ヲ免ジテヤツテ宜シカラウト思ヒマス、五年ノ延納分納ヲ許可シタル者ハ、既納ノ分ハ格別、是レ亦七年ノ分納ヲ許シテ然ルベシト思ヒマス、現内閣諸公ノ推戴シテ最モ尊敬セラレタル所ノ一大豪族ニ、不幸ニシテ悲ムベキ相續ガ開始セラレマシタ、其延納ノ期ナムスル、ソレヲ徒ラニ……徒ラニデハナイカモ存ジマセヌガ、唯事務ノ便宜上、相續法開始以前ニ於ケル者ニハ適用セズト云フ如キハ、洵ニ不親切ナ

ル立法デハナイカト云フコトヲ窮ニ憂フル者デゴザイマス、是ダケガ私ノ質問デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 休憩ヲ致シマシテ、午後ハ一時三十分ヨリ開會イタシマス

午後零時十四分休憩

○副議長(侯爵峰須賀正韶君) 是ヨリ引續キ午後ノ會議ヲ開キマス

〔國務大臣濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(濱口雄幸君) 先刻ノ中村君ノ御質問ニ對シマシテ、御答ヲ致サウト思ヒマス、質問ノ第一點ハ地租免稅點ニ關スル御質問デアツタノデアリマス、此點ニ關シマシテ中村君ハ我ガ國體ト土地トノ關係、君臣ノ義ト地租トノ關係ニ付キマシテ、詳細ニ御説ヲ述ベラレ、殊ニ先帝ノ御製ヲ引用セラレマシテ、熱心ニ御議論ヲ爲サレタノデアリマス、其御熱心ナル態度ニ對シマシテハ、私衷心ヨリ敬意ヲ表スル次第デアリマス、然ルニ中村君ガ御心配ニナリマシタ其國體並ニ君臣ノ義ト云フ事柄ト、此度、政府ノ稅制整理案ニ規定ヲ致シテアリマス所ノ地租免稅點トノ問題ハ餘リ大シタ關係ハ無イヤウニ私ハ考ヘマス、此度ノ免稅點ヲ設置イタサムトスル所ノ政府ノ提案ハ、申ス迄モナク小農タル自作農ノ維持創設ヲ助成シヤウトスル所ノ國家ノ政策上ノ見地ニ基イタル規定デアリマス、或ハ國體ノ問題、君臣ノ義ノ問題トハ、更ニ關係ノナイコト心得テ居リマス、政府ハ農村ノ狀況ニ鑑ミマシテ、又土地ノ兼併ノ風ガ追ミト行ハレマシテ、自作農ガ減少イタシ小作農ガ增加スルト云フ事柄ヲ以テ、國家ノ將來ノ爲ニ憂フベキ事態デアルト考ヘテ居リマス、此點ニ付キマシテハ、先刻、中村君ノ御演說ヲ承ツテ居リマシテモ、能ク御了解ヲ下サツテ居ルコトデアラウト思ヒマス、私共ノ考ニ依リマスレバ、中產階級殊ニ農村ニ於ケル所ノ中產階級デアリマス、自作農ト申シマスモノハ、即チ健康ノ中心デアリ、又道德ノ中心デアリ、常識ノ中心デアル、國家ノ組織ノ上ニ於テ、社會ノ構成ノ上ニ於テ、最モ大事ナ階級デアルト思ツテ居リマス、此大事ナ階級ガ追ミト凋落ヲ致シマシテ、自作農ガ自分ノ土地ヲ失ツテ他人ノ土地ヲ耕作ヲスルト云フ狀況ニ陥リマスコトハ、大體ノ上カラ考ヘマシテ、誠ニ憂慮スベキコトデアルト思ツテ居リマス、此憂慮スベキ所ノ狀態ト云

フモノヲ、之ヲ救濟イタシマシテ、自作農ノ維持ヲ致シ、之ガ創設ヲ助成シリマス、此見地ニ基キマシテ、此度ノ自作農ノ免稅點ヲ設クルコトヲ致シマス、又豫算ニ於キマシテモ、農林省ノ豫算ニ於テ、自作農ノ創設ヲ獎勵スルト云フ經費ヲ要求イタシマシテアルヤウナ次第アリマス、總テノ國家ノ政策ガ相一致協力ヲ致シマシテ、此農村ニ於ケル中產階級タル所ノ自作農ノ段々減ビ行カムトスル狀況ヲ挽回イタシマシテ、是ガ維持創設ニ力メタイト正ヲ致シマシテ、自作農ノ免除……殊ニ小農タル所ノ自作農ニ對シマシテ、地租ヲ徵收シナイト云フ規定ヲ設ケタ次第アリマス、此政策上ノ目的ヲ以テ地租條例中ノ改義ノ問題トハ、私ハ別ニ關係ノ無イ事柄デアルト思ヒマス、單リ關係ガアリマセヌノミナラズ、先刻、中村君ガ引用セラレマシタ所ノ、或ハ先帝ノ御製、其他ノ事柄ノ其趣意ヲ擴充イタシテ參リマスト云フト、此自作農ヲ維持創設イタシ、之ヲ獎勵スルト云フコトハ、即チ中村君ガ御説キニナリマシタ所ノ、其御精神ニ適フ所以デハナイカト考ヘル位アリマス、固ヨリ地租ヲ徵收シナイト云フ單一ナル事柄ヲ以テ、自作農ノ維持創設ヲ圖ルト云フコトハ、或ハ十分デナイト云フ嫌ヒモアルヤウデアリマスルガ、併ナガラ國家ガ一ツノ目的ヲ極メマシテ、斯ウ云フ事柄ヲ成就シヤウト云フ場合ニ於テ、單一ナル政策デハ其目的ヲ達スルコトガ出來マセヌカラ、此免稅點ヲ設クル以外ニ於キマシテモ、種々ナル所ノ政策ヲ施シマシテ、ソレガ相俟テ始メテ其目的ヲ達スルニ近カラムト考ヘル次第アリマス、斯ノ如キ趣意ヲ以テ自作農ニ對シマシテ、免稅點ヲ設クルト云フ改正案ヲ提案イタシタ次第アリマス、中村君ノ御議論トハ、其精神ニ於テ、別ニ抵觸ヲシナインミナラズ、却テ相調和シテ居ルノデハナカト私ハ考ヘマス、第二點ハ相續稅ニ關スル所ノ御質問デアリマス、相續稅ハ我國ノ美風タル所ノ家族制度ト相反スルモノデアルニ拘ラズ、此度ノ稅制整理ヲ機會ト致シテ、之ヲ廢止スルノガ相當デハナイカト考ヘテ居ツタ所ガ、單リ之ヲ廢止シナインミナラズ、却テ増徵スルト云フ案ヲ出サレタト云フコトハ、誠ニ遺憾デアルト云フ意味ノ御質問ト拜承イタシマシタ、然ルニ昨日モ整理案ニ付キマシテ大體ノ説明ヲ申上ゲテ置キマシタ通り、地租ニ對シテ免稅點ヲ設ケ、或ハ所得稅ノ免稅點ヲ引上げ、其他直接國稅ニ於テ相當ナル所ノ歲入ノ減少ヲ見マスルニ付キマシテ、此歲入ノ減

少ヲ直接國稅ノ新設若クハ增徵ニ依リマシテ、補填ヲ致サウトスルコトニ付キマシテハ、新ニ設ケマシタ所ノ資本利子稅ヲ以テ致シマスル外ニハ、相續稅ノ增徵ニ依リマシテ之ヲ補フト云フ以外ニ、他ニ方法ヲ發見スルコトガ出来ナイノデアリマス、茲ニ於テ政府ノ方針ト致シマシテハ、成ルベク、新稅若クハ增稅ハ避ケタイト云フ考ヲ持ツテ居リマシタケレドモ、現下ノ財政上ノ狀況ニ於キマシテ、歲入ノ減少ヲ來スト云フ整理ハ、遺憾ナガラ是ハ出來兼ネル次第アリマス、茲ニ於テ一方ニ於テ減ズル所ガアリマスレバ、ソレヲ補ヒマスルガ爲ニ新稅若クハ增稅ト云フ手段ニ出ナケレバナラヌノデアリマス、其增稅ト云フコトヲ直接國稅ニ於テ求ムル場合ニ於キマシテハ、相續稅ニ於ケル所ノ或ル程度ノ增徵ハ、誠ニ已ムヲ得ナイコトデアルト考ヘマス、併ナガラ相續稅ニ於テ唯稅率ノ增加ヲ致シタト云フノミデハアリマセヌ、即チ法案ニ於テ御覽ニナリマスル通り、從來ノ免稅點ヲ相當ノ程度ニ引上げマシテ、小サイ所ノ財產ヲ相續スル者ニ對シマシテハ、相續稅ヲ免除スルト云フコトモ併セテ規定シテアルノデアリマス、即チ家督相續ノ場合ニ於キマシテハ、免稅點ノ五百圓ヲ一千圓ニ引上げ、遺產相續ノ場合ニ於キマシテハ、免稅點ノ五百圓ヲ一千圓ニ引上げマシテアルノデアリマス、即チ斯ノ如ク致シマシテ、小財產ニ對スル所ノ相續稅ヲ免除イタシマスルト同時ニ、或ル程度以上ノ財產ヲ相續スル者ニ對シマシテノミ、其稅率ヲ適度ニ高メタノデアリマス、而モ其稅率ノ高メ方ハ四萬圓マデノ相續財產ニ對シマシテハ、從來ノ稅率ヲ變更イタシマセヌ、現行法ノ通リノ稅率ニ致シテ置キマシテ、四萬圓ヲ超過スル分ニ限ツテ、徐々ニ其稅率ヲ或ル程度ニマデ引上げタノデアリマス、其引上げシマシテハ、寧ロ其以内ニ於テ增率ヲ決メタノデアリマス、數字ヲ申上ゲテ見マスレバ、四萬圓マデノ財產ニ對シマシテハ、現行法ハ稅率ガ千分ノ十二メテ施行セラレマシタ所ノ明治三十八年、其施行初年ニ於ケル所ノ稅率ニ對シマシテハ、寧ロ其以内ニ於テ增率ヲ決メタノデアリマス、數字ヲ申上ゲテ見マスレバ、四萬圓マデノ財產ニ對シマシテハ、現行法ハ稅率ガ千分ノ十二メテアリマス、此度ノ改正案ニ於テハ十五ニ引上げマシタガ、明治三十八年施行當初ニ於テハ、其稅率ハ千分ノ三十デアツタノデアリマス、即チ四萬圓マデノ財產ニ對シマシテハ、施行當初ノ稅率ニ對シマシテ、此度引上げマシタ高ハ其半額ニ過ギマセヌ、即チ三十三對スル所ノ十五デアリマス、試ニ二十万圓ノ財產ニ付テ、新舊ノ稅率ヲ比較イタシマスルト云フト二十万圓ヲ超過スル財產ニ對シマシテハ、現行法ニ依ル所ノ稅率ハ千分ノ三十デアリマス、此

度ノ改正案ハソレヲ千分ノ五十ニセムトスルモノデアリマス、然ルニ施行當初ニ於ケル稅率ハ千分ノ五十五デアリマスカラ、施行當初ノ稅率ヨリモ、此度ノ稅率ハ却テ低イノデアリマス、又五十万圓ノ場合ヲ想像シテ見マスレバ、現行法ニ於キマシテハ、其稅率ハ千分ノ四十五デアリマス、此度ハ之ヲ八十ニ増率ヲ致シマスルガ、而カモ施行當初ノ八十五ニ比較イタシマスト云フト、此度ノ改正案ノ方ガ低イノデアリマス、而シテ施行ノ當初ニ於キマシテハ、御承知ノ通り、最高ノ稅率タル所ノ千分ノ百三十ヲ盛リマシタ、其相續財產ハ九十五万圓デアツタノデアリマス、此度ノ改正案ニ於キマシテハ、同ジク最高率タル所ノ千分ノ百三十ヲ適用イタシマスル相續財產ノ價額ハ五百萬圓以上ニナリ、即チ此度ノ改正案ニ於ケル所ノ相續稅ノ稅率ト申シマスモノハ、現行法ニ對シテハ相當程度ノ增率ニ當ツテ居リマスガ、其施行初年タル明治三十八年ノ其當初ノ稅率カラ比較イタシマスルト云フト、マダ幾ラカ低イ所ノ稅率ニ當ツテ居リマス、先刻、中村君ハ相續稅ノ施行セラレマシタ其當時ノ狀況ニ付テ御演説ガアリマシタ、如何ニモ其通リデアツタノデアリマスルケレドモ、此相續稅ハ御承知ノ通り、非常特別稅ノ範圍外デアリマシテ、即チ永久稅ノ目的ヲ以テ單行法トシテ制定セラレタ所ノ稅法デアツタノデアリマス、其時ノ稅率ニ比較ヲ致シマスルト云フト、此度ノ改正案ヲ以テ致シマスレバ、マダ幾ラカ低イ所ノ稅率ニナツテ居リマスカラ、別ニ家族制度ノ關係ヲ考ヘマシテモ、大シタル所ノ負擔デハナイ、斯様ニ考ヘマス、クレグレモ申上ゲテ置キマスガ、新稅、增稅ハ成ルベク避ケタイト考ヘマシタ、此度ノ此整理ニ於キマシテハ、歲入ノ減少ヲ許サナイ事情ガアリマスカラ、一面ニ於テ廢減稅ヲスルト同時ニ、他面ニ於テハ新增稅ヲヤルト云フコトハ、誠ニ已ムヲ得ナイト云フ事柄ヲ能ク御了解願ヒタイト思ヒマス、第三ニハ通行稅ノ全廢ニ付テ稅ノ減ゼラレタ、廢セラレタ部分ダケヲ、地方ノ公共團體其他ニ於キマシテ、運賃ヲ引上ゲテ、サウシテ乘客ノ負擔ハ少シモ減ラヌコトニナルト云フ結果ニナル虞レガアル、其場合ニ於テハ政府ハ政府ノ有ツテ居リマスル所ノ認可權ヲ利用イタシマシテ左様ナルコトハヤラセヌ考デアルト云フコトヲ衆議院ニ於テ申上ゲマシタガ、通行稅ニ於テハ政府ノ統制ガ利クデアラウケレドモ、其他ノ廢稅、例ヘバ穀物消費稅、或ハ醬油稅等ノ場合ニ於テ、通行稅同様ニ政府ノ統制ガ利カナイカラシテ、之ニ向ツテ如何ナル手段ヲ講ジテ、消費者ノ利益ヲ圖ラムトスルカト云フ意味ノ御質問デアツタノデ

アリマス、如何ニモ織物消費稅ノ場合、或ハ醬油稅、賣藥稅等ノ場合ニ於キマシテハ、政府ハ法令ノ力ヲ以テ之ヲ拘束スルコトハ出來ナインデアリマス、然ラバ政府ガ法令ノ力ヲ以テ拘束出來ナイガ故ニ、折角免稅ニナラズシテ、中間營業者ノ利益ニ歸スルト云フ心配ハナイカト云フ事柄デアリマスルガ、政府ノ考ヘル所ヲ以テシマスレバ斯ノ如キ場合ニ於キマシテハ、菟ニ角當業者ノ生產費ガ租稅ノ減ゼラレタダケ減少シマスルガ故ニ、茲ニ於テカ當業者ノ間ニ自然ニ競爭ガ起リマシテ、其競爭ノ結果ト致シマシテ、稅額ノ廢減セラレタモノダケハ、ソレダケ物ノ値段ガ下ガルト云フ結果ニ私ハ到達スルデアラウト信ジマス、當業者ノ自由競爭モ勿論デアリマスケレドモ、其以外ニ於テ私共ノ希望イタシマス所ハ、消費者即チ國民全體ノ其輿論ニ依ツテ、若シ當業者ガ中間ノ利益ヲ貪ツテ、消費者ノ利益ヲ無視スルトコトヲ爲サシメナイヤウニ、御互ニ努ムベキモノデアルト思ヒマス、併ナガラ大體ニ於キマシテハ、當業者ノ自由競爭ニ依ツテ左様ナル弊害ヲ生ゼズシテ濟ムデアラウト思フノデアリマス、第四ノ御質問ハ、此度ノ稅制整理ハ非常ナル所ノ大規模ノ整理デアル、凡ソ租稅ハ其行ハレルコトガ久シキニ從ツテ國民ガ自ラ其施行ニ慣レルモノデアル、其慣レテ居ル所ノ現行ノ租稅ノ制度ト云フモノハ、斯ノ如キ大規模デアリ、或ハ廢減ヲシ、或ハ新稅ヲ起スト云フコトハ、是ハ稅制整理ヲスルニアラズシテ、却テ稅制ヲ攪亂スルモノデハナイカ、物價ノ上ニ容易ナラザル所ノ變動ヲ生ズルモノデハナイカ、ト云フ御質問デアツタノデアリマス、此度、政府ガ稅制整理ヲ計畫イタシマシタノハ、昨日モ申上ゲテ置キマシタ通り、租稅ノ體系ヲ正シ、今日不公平ニナツテ居リマスル所ノ國民ノ負擔ノ公平ヲ圖ル、併セテ社會政策的ノ效果ヲ擧ゲ、更ニ進ンデ事業ノ基礎ヲ鞏固ニ致シ、產業ノ發達ヲ助成セムトスルニアルノデアリマス、若シ國民ガ長年月ノ間、其施行ニ慣レテ居ルガ故ニ、之ヲ整理スル必要ガナイト云フコトデアリマスレバ、國民ノ負擔ノ不公平ト云フモノバ、イツマデモ之ヲ除クコトガ出來ナイデアラウト思ヒマス、產業ノ發達ト云フモノモ、イツ迄モ之ヲ期スルコトガ出來ナイデアラウト思ヒマス、又現在ノ社會上、經濟上ノ狀況カラ將來ヲ考ヘテ見マシテ、最モ必要ト私共思考イタシマスル所ノ社會政策的ノ施設ト云フモノモ、イツ迄モ之ヲ實行スルコトガ出

來ナイデアラウト思ヒマス、ソレ故ニ此度ノ整理ヲ行ヒマシテ、稅ノ體系ヲ正シマシテ、負擔ノ均衡ヲ圖リ、斯ノ如クニシテ私共ガ希望イタシテ居リマスル所ノ社會政策的ノ效果ヲ擧ゲタイト云フノガ、此整理案立案ノ趣旨デアリマス、決シテ稅制ヲ攪亂セムトスルガ如キ考ヲ有ツテ居リマセヌシ、又左様ナル結果ヲ來スモノデナイト云フコトヲ固ク信ズル者デアリマス、勿論或ル消費稅ニ對シマシテ之ヲ廢減ヲ致シ、又或ル消費物ニ對シマシテ其租稅ヲ上ゲマスト云フコトガアリマスレバ、ソレハソレダケ物價ノ上ニ變動ヲ來スコトハ勿論デアリマスケレドモ、是ハ稅制整理當然ノ結果デアリマシテ、已ムヲ得ナイコトデアラウト信ジマス、第五番目ノ御質問ハ相續稅ノ附則ニ關スルコトデアリマス、政府ノ原案ニ依リマスレバ、相續稅法ハ本年ノ四月一日カラ之ヲ施行スルト云フコトニナツテ居リマス、但シ本法施行前ニ開始シタル相續ニ付テハ仍ホ舊法ニ依ルト云フコトガ附則ニ書イテアリマスルガ、ソレニ對シテ中村君ハ本法施行前ニ開始シタル所ノ相續デアリマシテモ、此新法ヲ迦テ適用セシムルコトガ宜シイデハナイカト云フ意味ノ御質問デアリマス、此度ノ相續稅法ノ改正ハ大體三點デアリマス、第一ニハ免稅點ノ引上げ、第二ハ或ル程度以上ノ相續財產ニ對スル所ノ稅率ノ引上げ、第三ニハ延納期間ノ延長デアリマス、若シ本法施行前ニ開始イタシマシタ所ノ相續ニ對シテ、迦テ新法ヲ適用セシメヤウト致シマシタナラバ、其改正ノ三點トモ、之ヲ適用セヌケレバナラヌト思ヒマス、ソレヲ適用イタシマスル場合ニ於キマシテ、免稅點ヲ引上げタ場合ニ於テハ利益ヲ受ケマス、延納期間ヲ延長シタ場合ニ於テモ利益ニナリマスルガ、稅率ヲ引上げマシタ點ニ於テハ是ハ明カニ不利益ヲ受ケマス、其不利益ヲ受ケル點ダケハ適用セズニ、利益ヲ受ケル點ダケヲ適用スルモノトナルト、是ハ明カニ合理的デナイト思ヒマス、假令、一步ヲ讓リマシテ、ソレガ合理的デアルト致シマシタ所デ、本法施行前ノ開始相續デアリマシテ、既ニ稅務署ニ於テ決定ヲ致シ、是ガ徵收ヲ終ツテ居ル者トノ權衡上、未ダ決定ヲ致サナイモノニ限ツテ新法ヲ適用スルト云フコトニナリマスト云フト、是ハ際限モナク既往ニ迦ル結果ニナル、何レニ致シマシテモ、本法施行前開始イタシマシタル相續ニ對シマシテ此新法ヲ適用スルト云フコトハ、是ハ出來ナイコトデアラウト政府ハ考ヘテ居マ

ス、大體御答ヲ致シマシタ

〔阪本彰之助君演壇ニ登ル〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 阪本彰之助君ノ登壇ヲ望ミマス

第一番ニ御尋ヲ致シタイト考ヘマスルノハ此通行稅デアリマスガ、此通行稅ト云フモノハ、大變ニ施行ノ當初ニ當ツテハ評判ノ惡イ、惡稅惡稅ト世間ニ唱ヘラレタモノデアルノデアリマスガ、其惡稅ガ既ニ二十年内外モ實施サレテ居リマシテ、今日ハ殆ド習慣性ヲナシテ左程ニ惡稅ラシク感ジマセヌヤウニ思フノデアリマス、私ハ豫テ先輩ヨリ聞イテ居リマスノニ、政治ノ要目ハ十年以上大ナル不都合ナクシテ行ハレテ居ル事ハ、寧ロ容易ニ變ヘヌ方ガ宜シイ、變ヘルト却テ國民ニ不安ヲ感ゼシムル場合ガアル、是ハ餘程古風ナ說カモ知レマセヌガ、私ハ多少ソレニ信條ヲ持ツテ居ルノデアリマス、既ニ二十年ニ近ク行ハレテ、惡稅惡稅ト言ハレツツアツタ中ニ、今日マデ行ハレテ居ルノデアル、如何ニモ此市街鐵道、即チ私共始終乗リマス市中ノ電車ナドニナリマスト、社會的、社會政策的方面カラ見マシテ、多少惡稅ト申シテ宜イカモ知レマセヌ、多少デヤナイ、大イニ惡稅ト申シテ宜イカモ知レマセヌガ、是亦勞働者ノ中カラ一錢ヅツ稅ヲ取ルト云フコトハ、或ハ酷デアルト云フ議論ハ確ニ立チマセウケレドモ、往復デ十五錢、割引ガアリマスレバモウ少シ安クナルノデアリマスガ、十五錢ト云フ極ク極マリノ宜イ金デ、我ミハ乘ツテ居ルノデアリマスガ、是ガ若シ通行稅ガ無クナリマスルト十四錢ト云フモノニナルダラウト思ヒマスガ、一錢デモ、ソレハ儲カル方ガ宜イカラ、四錢ト云フ錢ヲ持ツテ

行ツテモ、面倒デモ、其方ガ少イト云フ說モゴザイマセウガ、此節ノ人ハナカナカ、我ミト達ツテ隨分錢ヲ粗末ニ致シマシテ、十五錢ノ金デ一錢グラヰ何トモ思ツテ居ナイ、寧ロ却テ勞働者社會ニ其弊ガ多イ位ナモノデ、多數ノ婦女ナ頗ル便利デアル、釣リヲ出スニシテモ、五十錢出セバ三十五錢釣リガ來ルト云フコトハ大變便利デアリマスガ、ソレニ持ツテ行ツテ三十六錢釣リヲ出スト云フコトハ、餘程手數デアルノデゴザイマス、ト云フヤウナコトモゴザイマシ、殊ニ此鐵道ノ場合、汽船ノ場合ニ於キマシテ、社會政策的ノ理由ニ依ツテ廢止スルト仰シャイマスガ、此通行稅法ノ現行ヲ見マスト、二百哩以上ノ船ナリ汽車ナリニ乘リマス三等ニ乗ル人ハ、僅カ四錢ホカ稅ヲ取ラレナイ、四錢デモ稅ニハ違ヒアリマセヌガ、二百哩以上旅行ヲ致シテ僅カ四錢ノ稅ホカ取ラレナイノデアル、而モ一等ニ乗ル人ハ五十錢、二等ニ乗ル人ハ二十五錢取ラレテ居ル、此ノ位、社會政策的ノ事ノ行ハレテ居ルコトハナイ、餘程當時ノ立法者モ考ヘマシテ、五十錢取ラレル所ニ此三等ノ人ハ僅ニ四錢シカ取ラレナイコトニナツテ居ルノデアリマス、百哩未滿ノ者ハ一等二十錢、二等十錢、三等ニ乗ル人ハ僅ニ二錢ホカ取ラレテ居ナイ、即チ此二錢、四錢ヲ免ズルガ爲ニ、五十錢、二十五錢ト云フ稅ヲ拂フ人マデモ免除スルト云フコトハ如何ナモニアラウカト私ハ思フ、其證據ニハ皆サン御覽ノ通り、近頃ニ等ニ乗ル乗客ハ非常ニ多い、又或ル場合ニハ一等ニ乗ル人モ餘程殖エテ居ル、即チ此二十五錢ノ稅ヲ拂ツテニ等ニ乗ル人ガ殖エルト云フコトハ、生活ニ餘裕ガアルト申シマスカ、錢ヲ輕ク見ルト云フカ、二十五錢位ノ錢ハ何トモ思ツテ居ナイト云フコトガ確ニ言ヘルト思フ、サウ云フ人ミ、殊ニ一等ニ乗ル人、一等ニ乗ル人ガ長崎マデ行クノニ、五十錢稅ヲ拂ツテモ、何ガソレガ苦痛ニナル、サウ云フ免ジナクテモ宜イモノヲ免ジテ、社會政策デアルト云ツテ、僅カ四錢ノ人ヲ救フガ爲ニ、モウチヨット取ツテ宜イ、一等ニ乗ル客ナドヲ……自分等ガ無料ノ汽車ニ乗ツテ居ルカラソソナ大キナコトヲ言フト御笑ヒニナルカモ知レマセヌガ、是ハ誠ニ特殊ノ仕合セヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、甚ダ申スニ申シニクイデスガ、假ニ自分が拂フト致シマシテモ、長崎邊マデ旅行スル人、或ル少シ遠イ所ノ海ノ船ニ乗ル人ハ、五十錢ヤ一圓ノ稅ヲ拂フコトハ何トモ思ヒハシナイ、ソレガ皆御相伴ヲシテ今度無稅ニナツテシマフ、折角二十年近ク慣習ガ付イテ、ソ大ナル非難モナク、惡稅ト云フ聲ハ殘ツテ居リマスガ、實際ニ於テハソソナニ

苦痛……解釋デハ色ニ議論ガアリマセウガ、サウ苦痛トハ思ツテ居ラヌヤウデアル、先刻中村君カラモ御述べニナリマシタガ、之ヲ御免ジニナリマシタ所ガ、政府ノ鐵道ハ成程、明カニ五十錢ナリ二十五錢ナリ四錢ナリヲ御減ジ云フモノニナリマスレバ、監督權デ取締ルト仰シャイマスケレドモ、何トカカントカ云ツテ居ル間ニ、必ズニ二錢三錢デヤナイ、何時ノ間ニカ五錢、十錢上ツテシマフカモ知レナイ、詰リ乗ル人ノ身ニナツテ見ルト、此法令ガ無クナツタト云フコトガ、ドレ程有難味ヲ感ズルカ、私ハ實ハ疑ナキ能ハズト思ヒマスガ、ソレハ理論ト致シマシテ、今申シマス通リ一等ニ等ノ汽車ニ乗ル人マデ免ジナケレバ社會政策ニナラヌノデアルカ、又市街ニ乗ル者ガ僅ニ一錢、往復一錢、近郊ヲ歩ク人ナド、或ハ鶴見ノ花月園ヘ行クトカ、何處ヤラノ何ヤラヘ行クトカ、隨分休暇、日曜ノ日ナドハ群集ヲナシマスガ、此中ニハ社會政策的ノ人モ大分居ルニハ違ヒアリマセヌガ、此澤山ノ人ニ二錢三錢ヲ免ジナケレバ社會政策デナイト云フコトハ、少シクドウモ名前ニ囚ハレ、美名ノ下ニ囚ハレテ、事實ハ一向國民ハソレ程ニ有難味ヲ感ジナイモノデアルト云フコトヲ、私ハ深ク感ズルノデアリマス、此點ニ付テ政府ハ、ソレデモ矢張リ是ハ誠ニ結構ナ政策デアルト御考ヘニナルノデアリマセウカ、此疑ヲ解クニ足ル所ノ御説明ヲ一ツ承ツテ見タイト思フノデアリマス、次ハ賣藥稅デアリマスガ、此賣藥稅ト云フモノハ、古イコトヲ申スヤウデアリマスガ、明治十六年頃ニ、時ノ内務當局ガ企テラレテ……當時ハ「コレラ」病ガ非常ニ流行リマシテ、殆ド連年ノヤウニ「コレラ」ノ大流行ガアツテ、衛生的施設ト云フコトガ非常ニ必要デアルガ、ナカノ政府ガ金ヲ出シテ吳レス、大藏省ガ金ヲ出シテ吳レス、外國ノ模様ヲ見ルト、衛生ト云フコトハ非常ニヤカマシイモノデアツテ、我國ハ實ニ劣等ノ立場ニ居ル、出來得ベクンバ衛生省モ立テタイ、衛生省ト迄ハ行カズトモ、衛生院位ハ置イテ、大イニ現在ヨリモ擴張スル必要ガアルト云フコトヨリ發シマシテ、段々政府部内ニ於テ何カ財源ハ無イカト云フ所カラ、時ノ内務當局ガ發案ヲ致シテ、賣藥ト云フモノカラテ云フコトガ賣藥ノ方針デアル、無害無效ノモノナラバ幾ラ稅ヲ取ツテモ宜イデハナイカト云フ……少シ暴論カモ知レマセヌガ、サウ云フヤウナ議論

モアツテ、遂ニ税ヲ取ラウ、大藏省モ財源ヲ見付ケ出シテヤラウト云フコト、ナラバ、ソレハ多少上ゲマセウト云フコトデ、當時八十万圓ト云フモノガ取レルコトニナツタ、印紙税ニシマシテモ、其八十万圓ガ今日デハ、一千萬圓ニナツテ居ルノデアリマス、所ガ八十万圓ノ税ヲ取リマシタケレドモ、ナカク、其金ヲ内務省ノ言フヤウニ認メテ吳レマセヌ、而モ衛生當局者ノ微力ナル、段々減サレテ、元ノ李阿彌デ、矢張リ他ノ局ト餘リ違ヒハナイ所ノ待遇ヲ今日受ケテ居ラレルヤウデアリマスガ、實ハ一千萬圓上ガレバ皆ナ衛生ニ使ツテ宜シイ、今後ハ私ハ之ヲ御廢メニナル位ナラバ、一ツウント衛生的方面ニ御使ヒ下サレテ、現在帝都ノ下ニ一千何百人ト云フ「チブス」ヲ出しテ居ル世ノ中デアルカラ、シカカリ衛生施設ヲ、毎年一千萬圓ヲ此方面ニ御使ヒニナレバ、可ナリノ事が出來ル、或ハ衛生省ヲ御立テニナル、少クモ衛生院ヲ御立テニナツテ、シカカリ御ヤリニナツタガ宜カラウ、要ラヌ御金ナラバ……社會政策的ニ、サウ云フ譯ニハイカヌ、斯ウ仰シヤルデアリマセウガ、是亦、私ニ言ハセルト、悉ク社會政策的方面ニ有難味ヲ感ゼシメルモノデハナイト思フ、寒村僻邑ノ醫者ニ手ヲ握フテ費フコトガ出來ナイカラ、賣藥ニ依ツテ九死ニ一生ヲ得ルト云フコトハ、此中ノ幾分デアリマセウカ、何分ニホカ當ラヌデアラウ、多クハ矢張リ中產以上若クハ中產以下デモ、或ハ口ニ含ンデ香味ヲ感ズルトカ、或ハ顏ニ塗フテ光ヲ發スルトカ云フヤウナ、極端ニ申セバ寧ロ贅澤品ノ方面ニ使ハレテ居ルモノガ澤山アル、ソレヲモ社會政策デアルト云フテ免ズルト云フコトハ、如何ナモノデアリマセウカ、矢張リ此度、清涼飲料ニ税ヲ新ニ御課シニナルヤウデアリマスガ、私ニ言ハセルト、清涼飲料ニ税ヲ課スルト云フコトト、賣藥ノ或ル部分ノモノニ税ヲ取ルト云フコトハ、同ジ趣意ダト思フ、然ルニ一方ハ、今度ハ之ヲ廢サウ、一方ハ新稅ヲ起サウ、此位、矛盾シタコトハナイト思フノデアリマス、清涼飲料ヲ飲ミマスレバ人ハ愉快ヲ感ズル、暑イ時ニハ大變氣持ガ宜イ、賣藥ノ口ニ含ンデ香味ヲ感ズルトカ、或ハ部屋ニ吊フテ置ケバドウヤラナルト云フルト云フコトハ、此位、矛盾シタコトハナイト思フノデアリマス、然ルニ、一面ハ新稅ヲ起シ一面ハ免ズル、詰リ、賣藥ト云フモノヲ非常ニ買ヒ被ツタ、政府當局ハ此位ノコトヲ御承知ナイト云フコトハナイト思ヒマスガ、私ニ言ハセルト、賣藥ト云フモノハソレ程結構ナ效能ノアルモノハ頗ル小部分デ、今日デハ無害無效デハアリマスマイ、方針モ變ツテ居リマセウガ、私ノ存ジテ居ル所デヤウナモノト、同ジヤウナ意味デアルト思フノデアリマス、然ルニ、一面ハ

ハ、無害無效デナケレバ危險ダ、田舎ニデモ持ツテ行ケバ是ハ效クト云フノデ、三日ニ飲マナケレバナラヌモノヲ一遍ニ飲ムト云フヤウナ虞レガアルカラ、餘リ效クヤウナモノハイケナイ、賣藥ト云フモノハ氣休メデアルト云フ趣意デヤラレタノデアリマスルガ、今日ハ地方廳デ一定ノ方針デヤツテ居ラレルデアラウト思ヒマスガ、醫藥用ノ代用ヲスルモノハ別問題ト致シマシテ、半バ以上ハ矢張リ賣藥ノ意味ノ香料ニ使ハレテ居ルト私ハ認メルノデアリマス、而モ其金モ使ヒヤウニ依ツテハ、非常ニ唯今ノ衛生的ノ方面ノ施設ニ使フノミナラズ、其山間僻邑ノ醫藥ニ親シムコトガ出來ナクテ死ンデシマフト云フヤウナ者ノ爲ニ、出來得ルダケ巡廻診療トカ、或ハ村醫トカ云フヤウナモノヲ配置スルトカ、政府ハ補助デモ與ヘテ、此金ノ中カラサウ云フ方面ニ御使ヒニナリマシタナラバ、本當ニ社會政策ノ運用ガ出來ルト思フニ拘ラズ、過ギハ致シマセヌデアリマセウカ、通行稅ト賣藥稅ト兩方寄セマスルト、二是ハ四十年來取ツテ居ル稅デアル、四十年來大シタ苦情モ無クシテ來タモノヲ、此稅ヲバット廢メテ一千萬圓ノ損ヲ爲サルト云フコトハ、餘リ勇氣ガアリザツト三百万圓餘ノモノデアル、地租ノ減額ト申シテモ一千六百万圓、此二ツヲ存置サルレバ、地租ノ……此内閣ノ最モ力ヲ御入レニナラナケレバナラヌト思フ地租一分減ト云フモノモ、實行ガ出來ルノデアル、清涼飲料モ取ツテ宜ケレバ取ル、是モ取リマスレバ二千四五百萬圓ノ金が出來ル、出來レバ義務教育費ノ國庫負擔モ餘リ御心配ナサラズニ、ソレモ使フコトガ出來ル、此結構ナ財源ヲ弊履ノ如ク棄テテ、サウシテ一方ノ方デハ非常ニギウギウ云ツテ御苦ミニナツテ居ルト云フコトハ、甚ダ素人評デアリマスガ、素人カラ考ヘルト少シ拙デハナイカト思フノデアリマスガ、ドウシテモ餘儀ナクスウシナケレバナラヌ、賣藥ハドウシテモ稅ヲ取ツテハイカヌト云フ、矢張リ根本的ノ所ヲ伺ハナケレバ、唯、社會政策的ノ御一言デハ、本員ノ腹ニハ這入リマセヌノデアリマス、此方面ニ向ツテ相當ナ了解ヲ得ルダケノ、一ツ御説明ヲ承ツテ見タイモノト存ジマス

〔國務大臣濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（濱口雄幸君）唯今、通行稅ト賣藥稅ノ廢止ニ付キマシテ御質問ガアツタノデアリマス、通行稅ノ廢止案ヲ出シマシタノハ、社會政策的ノ施設ノ一端トシテ、之ヲ提案イタシタノデアリマスルガ、如何ニモ阪本君ノ御說

ノ通り、通行稅ハ施行以來、長年月ヲ經過シテ居リマシテ、其施行ニ國民モ大分慣熟ヲ致シ、苦痛ヲ感ズルコトガ少イカラ、之ヲ廢止セヌデモ宜カラウデヤナイカト云フ說モアリマス、更ニ第二ノ理由ト致シマシテ、通行稅ヲ徵收スルニハ、徵收ガ極メテ便宜デアル、ソレ故ニ之ヲ廢止スルコトハ然ルベカラズト云フ論モアルノデアリマス、其點ニ付キマシテ、政府ハ相當ニ考慮ヲ重不タノデアリマス、第一ノ施行ニ慣レテ居ルガ故ニ、國民ガ苦痛ヲ感ズルコトガ少イ、仍テ之ヲ廢止セナクテモ宜カラウト云フ、サウ云フ說ニ對シマシテハ私共ノ考ヘル所ニ依リマスルト、一國ノ總テノ政治、是ハ稅法ニ限りマセヌ、總テノ政治ニ對シマシテ、各方面ニ於テ種々ノ議論ガ起リマス、或ル制度ニ對シマシテ、其利害關係者カラ、非常ナル所ノ反對ガ起ル、又或ル稅法ニ對シマシテ、其利害關係者カラ、非常ナル所ノ不平ガ起ル、斯ノ如キ場合ニ於キマシテ、其關係者ガ有力ナル所ノ人ミデアツテ、而モ其勢力ヲ集中スル所ノ機關ヲ有ツテ居リマス場合ニ於テハ、其反對ノ聲ガ非常ニ大ニナルノデアリマス、盛ニ聞エルノデアリマス、或ハ其運動ガ集中セラレマシテ、非常ニ猛烈ナル勢ニナルコトガアリマス、サウ云フ時ニ於テハ、其聲ガ世間ヲ動カシ、又政府ヲ動カシ、議會ヲ動カスト云フコトガ容易ニ行ハレルノデアリマスレドモ、若シ其政治、或ハ其稅法ヲ施行スルガ爲ニ、苦痛ヲ受ケテ居リマス所ノ其社會ノ階級ト云フモノガ、纏マッタル所ノ中心勢力ヲ爲シテ居ナシ、又政府ヲ動カシ、議會ヲ動カスト云フコトガ容易ニ行ハレルノデアリマス、或ハ其輿論ヲ發表スル所ノ中心ノ機關ヲ有ツテ居ナイ場合ニ於テハ、其問題ニ對スル所ノ不平ノ聲ト云フモノハ、外部ニ纏マッテ現ハレズシテ濟ム場合ガ往々アルト思ヒマス、通行稅ニ對シマシテ、世間ニ廢止ヲ要望スル輿論イ、或ハ其輿論ヲ發表スル所ノ中心ノ機關ヲ有ツテ居ルト考ヘマスル事柄ハ、御承知ノ通り、現行法ニ於キマシテハ、自動車ト電車ト汽船ノ乗客ニノミ之ヲ課稅イタシテ居リマスルガ、是ハ前段申上ゲマシタ如キ趣意ニ依リマシテ、此際、寧ロ之ヲ全廢スルト云フコトガ相當デアラウト考ヘルノデアリマス、殊ニ通行稅ニ付キマシテ、甚ダ權衡ヲ失ツテ居ルト考ヘマスル事柄ハ、御承知ノ通り、現行法ニ於キマシテハ、汽車ト電車ト汽船ノ乗客ニノミ之ヲ課稅イタシテ居リマス、最近、自動車ノ發達ニ依リマシテ、此自動車ヲ利用スル所ノ乗客ガナカニ多イノデアリマスガ、此自動車ノ乗客ニ對シマシテハ、通行稅ヲ課スルト云フコトハ、實行殆ド不可能ト考ヘマス、自動車ノ客ニ對シテハ之ヲ課セズ、電車、汽車、汽船ノミノ乗客ニ對シマシテ之ヲ課シマスト云フコトハ、通行稅ヲ存續スル場合ニ於キマシテハ、甚ダ權衡ヲ得テ居ナイト思ヒマス、旁、是等ノ理由ニ依リマシテ、此度ノ稅制整理ヲ機會ト致シマシテ、之ヲ廢止スルト云フコトニ意ヲ決シタ次第アリマス、其次ニハ賣藥稅ノコトデアリマスルガ、如何ニモ賣藥ノ中ニハ、阪本君ガ御指摘ニナリマシタ如ク、嗜好品、或ハ更ニ一步ヲ進メテ贊澤品ニ近イト思ハレル如キモノモ無イデハナイト思ヒマス、併ナガラ、賣藥全體トシテ之ヲ考ヘマスルト云フト、斯ノ如キハ寧ロ例外ニ屬スルモノデアラウト思ヒマス、其大部分ハ即チ山間僻邑ノ住民、ノ施行ニ依ツテ苦痛ヲ受ケテ居リマスル如キ階級ノ人ミハ、ドチラカト申シマスレバ、其勢力ガ散漫デアリマス、從テ縱令、苦痛ヲ感ジテ居ツテモ、ソレニ反對スベキ所ノ機關ヲ有ツテ居ラヌ、從テ其聲ガ十分ニ中央ニ徹底イタシマセヌ、其中央ニ徹底シナイカラ不平ハ無イト云フ譯ニハ私ハ參ラヌト思ヒマス、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、議會ニ致シマシテモ、政府ニ致シマシテモ、

能ク其邊ノ事情ヲ考慮イタシマシテ、民情ニ察シテ、其政治ヲ改メテ行クト云フコトガ、是ガ最モ肝要ナルコトデハアルマイカト存ジテ居リマス、又汽車ノ二等客、三等客ノ例ヲ以テ御話ニナリマシタガ、此點ニ付キマシテハ、大正十二年度ノ統計ヲ持ツテ居リマスカラ、之ヲ申上ダマスガ、電車ノ乗客ト、汽車ノ三等乗客ノ負擔スル所ノ稅額ハ、通行稅ノ總收入ノ中ノ九割三分ヲ占メテ居リマス、若シ電車ノ通行稅ヲ廢シ、汽車ノ三等ノ通行稅ヲ廢シ、一二等ノミヲ存續スルト云フ場合ニ於キマシテハ、其收入金額ハ百万圓ニ足リナイト云フ結果ニナリマシテ、最早、之ヲ存續イタシマスルト云フ財政上ノ理由ハナクナルト思ヒマス、從テ若シ之ヲ存續イタシマスルナラバ、全部ニ付テ之ヲ存續致シ、其一部ヲ廢止ヲシマスルナラバ、寧ロ全部ヲ廢止スルト云フ外ニハ執ル途ガナインデアリマス、然ラバ、其何レヲ選ブカト云フ問題デアリマスルガ、是ハ前段申上ゲマシタ如キ趣意ニ依リマシテ、此際、寧ロ之ヲ全廢スルト云フコトガ相當デアラウト考ヘルノデアリマス、殊ニ通行稅ニ付キマシテ、甚ダ權衡ヲ失ツテ居ルト考ヘマスル事柄ハ、御承知ノ通り、現行法ニ於キマシテハ、自動車ト電車ト汽船ノ乗客ニノミ之ヲ課稅イタシテ居リマス、最近、自動車ノ發達ニ依リマシテ、此自動車ヲ利用スル所ノ乗客ガナカニ多イノデアリマスガ、此自動車ノ乗客ニ對シマシテハ、通行稅ヲ課スルト云フコトハ、實行殆ド不可能ト考ヘマス、自動車ノ客ニ對シテハ之ヲ課セズ、電車、汽車、汽船ノミノ乗客ニ對シマシテ之ヲ課シマスト云フコトハ、通行稅ヲ存續スル場合ニ於キマシテハ、甚ダ權衡ヲ得テ居ナイト思ヒマス、旁、是等ノ理由ニ依リマシテ、此度ノ稅制整理ヲ機會ト致シマシテ、之ヲ廢止スルト云フコトニ意ヲ決シタ次第アリマス、其次ニハ賣藥稅ノコトデアリマスルガ、如何ニモ賣藥ノ中ニハ、阪本君ガ御指摘ニナリマシタ如ク、嗜好品、或ハ更ニ一步ヲ進メテ贊澤品ニ近イト思ハレル如キモノモ無イデハナイト思ヒマス、併ナガラ、賣藥全體トシテ之ヲ考ヘマスルト云フト、斯ノ如キハ寧ロ例外ニ屬スルモノデアラウト思ヒマス、其大部分ハ即チ山間僻邑ノ住民、ノ應急ノ治療方法トシテ、之ヲ消費スル人ミガ最モ多イデアラウト思ツテ居リマス、即チ賣藥ト云フモノガ、國民ノ間ニ如何ニ消費セラレテ居ルカト云フコトヲ、大體カラ觀察ヲ致シマシテ、寧ロ是ハ無產階級ノ間ニ大部分消費

サレテ居ルモノノデアルト云フコトヲ、政府ハ考ヘマシタガ故ニ、社會政策的ノ意味ヲ以テ之ヲ廢止スルノガ、相當デアラウト思ッタノデアリマス、勿論、例外ト致シマシテハ、阪本君ノ御指摘ニナリマシタ通り、中產以上ノ階級ノ人ミデアリマシテモ、之ヲ嗜好品トシテ、或ハ贅澤品トシテ使用スル場合ハ、私ハ無イトハ申シマセヌガ、其方ハ寧ロ小部分デアラウト思ッテ居リマス、要スルニ、大體カラ達觀フ致シマシテ、之ヲ廢止スルコトガ社會政策ノ趣旨ニ合致スルモノト認メタ次第デアリマス

○阪本彰之助君 原案トシテ御提出ニナリマシタ以上ハ、唯今ノ如キ御説明デアルト云フコトハ、已ムヲ得ヌコトト思ヒマスルガ、質問者ニ取ッテハ満足ヲ得兼ネマスルノデアリマス、此上ハ議論ニナリマスカラ差控ヘタイト思ヒマスルガ、唯今、大藏大臣モ、賣藥ノ中ニハ嗜好品、甚シク云ヘバ贅澤品モ無イデハナイト云フヤウナ御説モアリマシタ、御認メニナツテ居ルト云フコトハ、私ノ誠ニ喜ブ所デアリマス、果シテ然ラバ、其實藥稅法ノ廢止ト同時ニ、賣藥ノ取締ヲナシ、賣藥法ヲ御改正ニナリマシテ、眞ニ貧民若クハ山間僻邑ノ人ミガ醫藥ニ代ハルベキ性質ノモノダケヲ賣藥トナサレマシテ、アトハ別ニ名前ヲ付ケテ稅ヲ御取リニナルカ、或ハ免許稅ヲ澤山御取リニナルカ……現ニ賣藥ト云フモノハ非常ニ儲カルモノデ、新聞ノ廣告、其他新聞ノ廣告バカリデアリマセヌ、種々ノ出版物ナドヲ出シテ、大阪アタリカラハ、莫大ノ金ノ掛カツタモノヲ、我ミノ家ニ配布スル人ガアルノデアリマス、是等ヲ以テ見マシテモ、賣藥商ト云フモノハ如何ニ儲カルカト云フコトハ分ソテ居ル、而モソレハ醫藥ノ代用ニナラナイモノヲ、コノ世智辛イ世ノ中ニ、地租輕減サヘ出來ナイト云フノニ、地租ノ輕減ハ差措イテ、之ヲ無稅ニスルト云フコトハ、是ハ甚ダ不當ナコトデアルト私ハ思フノデアリマス、故ニ内務當局トシテ、此賣藥法モ御改正ニナツテ、何トカモット適當ナ方法ヲ講ゼラル御考ハ無イデセウカ、此點ヲ一應伺ツテ置キマス

〔政府委員潮惠之輔君演壇ニ登ル〕

○政府委員(潮惠之輔君) 内務大臣ガ唯今此處ニ居ラレマセヌカラ、私カラ唯今ノ御尋ニ御答ヲ致シマス、賣藥ノ將來ノ取締方針ニ付キマシテハ、先日來、衆議院デ各稅法ノ御審議中ニ於キマシテモ、唯今御述ベノヤウナ御希望モ出テ居リマス、其當時、内務大臣ガ直接ニ賣藥ノ取締ノ將來ニ關シテハ篤ト考慮イタシテ、相當ナ方法ヲ執ツテ見タイト考ヘテ居ルト云フ御答ガアリ

マシタ、尤モ御承知ノ通リ賣藥ノ取締ト申シマシテモ、色々世間ノ希望ニハ困難ナ事情ガアリマスカラ、其邊ノ所ハ専門ノ當局ニ於キマシテ、十分ニ調査ヲ致シマシタ上デ、相當ノコトニ進ンデ參ルコトト信ジテ居リマス○阪本彰之助君 何レ特別委員會モ開カレマセウカラ、先づ不十分デアリマスガ本員ノ質問ハ之ニ止メテ置キマス

〔森平兵衛君演壇ニ登ル〕

○森平兵衛君 私ハ昨日、本院ニ上程サレマシタル國稅整理改正法律案ニ對シマシテ、聊カ、先輩ノ各位ノ御質問ニナリマシタ點ト重複ノ嫌ハアリマスルガ、單簡ニ四五點ヲ政府當局ニ御質問ヲ致シタイト思フノデアリマス、第一ニ政府ハ國家ノ重大ナル時機ニ際シ、財政上ノ極メテ重要政策タル稅制整理ヲ爲スニ當リマシテ、何故ニ產業ノ不振民力ノ疲弊ヲ顧慮セズシテ、新稅ヲ起シ、且ツ增稅ヲ爲サレタルカト云フコトヲ質問シタイト思フノデアリマス、現政府ノ在野時代ニ於キマシテハ、常ニ行政ヲ整理シ、財政ヲ緊縮シテ、以テ民力ノ休養、產業ノ振興ニ資スト云フコトニ、御主張ニナツテ居ツタノデアリマス、是レ我々國民ノ大ニ共鳴シタル所デアリマス、先ニ護憲內閣ノ組織セラルルヤ、憲政會ハ實ニ其中心デアツタノデアリマス、而シテ組閣ノ初メニ於テ施政ノ方針トシテハ、我國財政經濟、其他各方面ノ行詰レル狀態ヲ展開スルノ途ハ、緊縮政策ヲ以テ、國民ニ勤儉力行、消費節約ノ範ヲ示シ、以テ人心ヲ作興スルノ外ナイモノトシテ、之ヲ中外ニ聲明セラレタモノノデアリマス、而シテ大正十四年度ノ豫算ニ於キマシテハ、少額ナガラモ緊縮ノ實ヲ御舉ゲニナツタノデアリマス、公債ノ公募ヲ打切り、多年膨脹シ來リタル所ノ國家ノ財政ヲ整理セラレタルコトハ、吾人ノ大ニ多トシタル所デアリマス、唯、其程度ニ於テ我等國民ハ最初ノ期待ニ副ハザリシコトハ寔ニ遺憾ニ存ズル次第デゴザイマスルガ、三派協調ノ内閣ニ於テ、先づ已ムヲ得ザルモノトシテ、大整理斷行セラルルニ當リテハ、必ズヤ多年聲明セル抱負ヲ實行セラレテ、大ニ緊縮ノ實ヲ舉ゲ、民力ノ涵養、產業ノ振興、貿易ノ發展ニ資セラルルコトデアラウト期待ヲシテ居ツタ者ハ、獨リ我等一部ノ商工業者デナカツタモノト思フノデアリマス、然ルニ政府ハ今回ノ稅制整理ハ極メテ微溫的デアリマシテ、歲人ニ著シキ増減ヲ來サザルコトヲ根本方針トシテ立案セラレ、毫モ財政緊縮ノ實ナキコトハ、吾人國民ト共ニ甚ダ遺憾トスル所デアリマス、今

ヤ我國ノ現狀ハ、物價昂騰シテ貿易振ハズ、產業萎靡シテ失業者續出シ、思想日々ニ悪化シ、尙ホ各方面ニ行詰リタル狀態ニ在ルノデアリマス、國家ハ誠ニ重大ノ危局ニアルモノト思フノデアリマス、此時ニ當リマシテ國內第一ノ事業家タル、十六億ニ近キ大事業ヲ經營セラル所ノ政府ガ、毫モ其事業ノ上ニ整理緊縮ヲ加ヘズ、却テ新稅ヲ起シ増稅ヲ敢テシテ、前年度豫算ニ比シマシテ、四千八百餘万圓ヲ增加ナスト云フガ如キハ、國民ニ對シテ勤儉力行、消費節約ヲ高唱セラルコトハ如何デアリマセウカ、私ハ單ニ負擔ノ公正均衡ヲ圖ル意味ニ於テハ、今回ノ稅制整理ニ於テ大體贊成スルニ客ナラザル者デアリマスルケレドモ、此國家重大ノ危局ニ際シテ、政府ハ何故ニ今一層行政ヲ整理シ、減稅的ノ稅制整理ヲ斷行シテ、以テ國民ノ負擔ヲ輕減シ、民力ノ涵養、產業ノ振興ニ資セラレザリシカヲ間ハムト欲スル者デアリマス、昨日、本議場ニ於キマシテ大藏大臣ハ、歲入ノ減ズルコトハ不可能デアルト云フコトヲ言明セラレマシタガ、稅制整埋ヲ致シマスル最初ニ於テ、歲入ニ著シキ減少ヲ來サザル範圍デ、調査研究ヲスルト云フ御方針デアッタノデアリマスルカラ、其結果モ亦當然デアルト云ハネバナラヌト思フノデアリマス、故ニ政府ハ第一ノ質問ノ如キニ對シテハ、何等善處スルノ意思ガ最初ヨリ無カツタモノデアリマスカ、御尋ネシタインデアリマス、第二番ハ、政府ハ明年度以後ニ於テ更ニ新稅ヲ起シ、又ハ增稅ヲ爲サムトスル御意思ガアルカドウカ、御伺ヒシタインデアリマス、道路傳フル所ニ依リマスレバ、政府ノ豫定セル所ノ海軍計畫ヲ完成スルガ爲ニハ、明年度以後ニ於テ三億二千五百万圓ノ巨費ヲ投ジ、其財源トシテ新稅ヲ起スカ、或ハ增稅ヲ爲サムトスル意思アリト云フコトヲ聞クノデアリマス、政府ガ果シテ斯ノ如キ意思アルカドウカ、國防上、海軍計畫ノ必要ハ如何、若シ有リトスレバ、是ガ財源ハ新稅又ハ增稅ニ依ラムトスルモノデアルカ、或ハ此財源ヲ行政財政ノ緊縮ニ依テ之ヲ捻出セラレムトスルノデアリマスカ、御明答ヲ得タイノデアリス、第三ハ營業收益稅ニ付テ御尋ネシタイト思ヒマスガ、今回新ニ設ケラレマシタ所ノ營業收益稅ハ、實際ニ於キマシテ、徵稅上、手數ガ煩瑣デ、調査ガ困難デアルト思フノデアリマス、故ニ弊害ガ百出シテ、延イテ國民ノ納稅思想ヲ悪化セシムル虞レ無キカヲ心配スルノデアリマス、其理由ト致シマシテハ、今回ノ御提出ノ營業收益稅法案ハ營業者ノ純收益ノ負擔能力ニ應ジテ課稅ヲセムトスルモノデアリマシテ、理論上ハ極メテ公正均衡ヲ得タヤウニ思ヒマ

スルガ、實際ニ於テハ營業ノ純益ハ、其狀態ニ依リテ千差萬別デアッテ、一樣ナラザルガ故ニ、同一業體ニアリマシテモ、其規模ノ大小ト、其營業ノ巧拙ニ依リマシテ、又甚シキ差違ヲ生ズルモノデアリマス、是ガ公正的確ナル調査ハ頗ル困難デアッテ、稅務官吏ト納稅者トノ間ニ、必ズ紛爭ガ絶エヌコトト思フノデアリマス、ノミナラズ、收益稅ノ課稅標準ハ現行ノ營業稅ノ課稅標準ト異ナリマシテ、直チニ所得稅ノ課稅標準ニナルモノデアリマスルカラ、苛酷ナル査定ニ依ヅテ被ムル所ノ納稅者ノ痛苦ハ極メテ甚シク、爲ニ國民ノ納稅觀念ヲ惡化スルノ虞レアルデハナイカト思フノデアリマス、其點ニ對シテ政府ノ御所見ハ如何デアリマスカ、次ニ營業收益稅ガ現行營業稅ニ比シ、增稅ノ結果ヲ來シタル場合ハ、政府ハ稅率ヲ改正スルノ御意思ガアルカ、ドウカヲ御尋ネシタインデアリマス、政府ハ營業收益稅ヲ以テ現行營業稅ニ比シトテ稅額ノ減少ヲ來スモノデアルト云フコトハ、昨日來、屢々此壇上ニ於テ言明セラレテ居ルノデアリマス、然ルニ全國商業會議所聯合會其他ノ實業團體ニ於キマシテハ、縝密ナル調査統計ニ依ヅテ、約五割程度ノ增稅ヲ來スト云フコトヲ唱ヘテ居ルノデアリマス、政府ノ言明ガ……調査ガ宜イカ、或ハ民間實業團體ノ調査ガ行届イテ居ルカト云フコトヲ、私ハ茲デ争ヒマセヌ、然レドモ、此事ハ大正十六年度ノ徵稅實蹟ニ徵シタナラバ、明カニ分ル事デアル、其時ニ今、民間ノ主張スル如ク、增稅ノ結果ヲ若シモ來シタ時ニハ、政府ハ今日ノ言明ニ鑑ミテ、當然稅率ノ輕減ヲ斷行セラレルコトト思フノデアリマス、果シテ斯ノ如キコトヲ爲サレル意思ガアルカドウカ、御尋ネシタインデアリマス、第五ハ政府ハ何故、營業收益稅法中ニ、第二十五條即チ稅務官吏ヲシテ營業上ノ帳簿物件ヲ検査セシムル規定ヲ設ケラレタカト云フコトヲ御尋ネシタイト思フ、現行營業稅法ガ惡稅デアッテ、商工業者ガ多年之ガ全廢ヲアリマス、第二ニハ此稅務官吏ニ對シ營業ニ關スル帳簿物件ヲ検査スルノ權限ヲ付與シタノガ第二ノ此爭點デアルノデアリマス、今回ノ收益稅ニ於テハ、之ニ鑑ミラレマシテ、大藏當局ハ外形標準ニ依ヅテ課稅スルコトヲ廢シテ、收益稅ニ之ヲ變ヘルト云フコトハ、其弊害ノ一半ヲ除キタルモノニ拘ラズ、此第二十五條ニ於テ現行營業稅法ノ第三十三條ヲ其儘規定シテ一般ノ弊害ヲ存置シ置カレタト云フコトハ、甚ダ了解ニ苦シム所デアリマス、元來、

營業収益稅ハ營業上ノ所得デ課稅スルモノデアリマシテ、言葉ヲ換ヘテ申シ
マスレバ、所謂營業所得稅デアリマス、而シテ一方、納稅者ニ於キマシテ、
肝腎ノ所得稅法ニ付テハ稅務官吏ガ帳簿物件等ヲ検査スルノ規定ガ無イノデ
アリマス、然ルニ其所得稅法ニ付キマシテハ、徵稅上、何等ノ不平ガ無イノ
デアッテ、極メテ圓滑ニ施行セラレテ居ルノデアリマス、殊ニ文明ノ進歩、教
育ノ普及ニ伴ヒマシテ國民ノ納稅思想モ年ト共ニ向上シツツアル時ニ當リ、
昔日ノ蠻風トモ云フベキ條項ヲ存置シテ置カレルト云フコトハ、反面ヨリ見
タナラバ、國民ノ品性ヲ侮辱セラレタモノト云フコトヲ憚カラヌノデアリマ
ス、政府ハ何故、此二十五條ヲ存置セラレタモノデアルカ、是ダケヲ御尋ネ
シタイノデアリマス、ドウカ大藏當局ニ於テ御答辯アラムコトヲ希望イタシ
マス

〔國務大臣濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(濱口雄幸君) 第一ノ御質問ハ稅制整理ヲ行フニ當ッテ、何故、減
稅的ノ整理ヲ行ハナカッタカ、即チ新稅增稅ヲ何故行ナカッタノデアルカ、斯ウ
云フ御質問デアッタノデアリマス、政府モ出來得ベクンバ、此度ノ稅制整理ヲ
機會ト致シマシテ、國民ノ負擔ヲ輕減スルト云フコトヲ希望イタシマシタノ
デアリマス、然ルニ財政ノ現狀ハ到底減稅的ノ整理ヲ許サナイ狀況ニアリマ
ス、森君ノ御舉ゲニナリマシタ三派内閣ニ於テ、御承知ノ通リ、大正十四年
度ノ豫算ヲ編成スル時ニ當リマシテ、一般會計ニ於テ一億五千二百萬圓、特
別會計ニ於テ一億四百餘万圓、通計イタシマシテ二億五千六百餘万圓ノ整理
ヲ行ツタノデアリマス、是ダケノ整理ヲ行ヒマスニ付キマシテハ、其時ノ事情
ニ於テ我ニ出來得ルダケノ力ヲ致シタ積リデアリマス、是以上ノ整理ガ出來
マスナラバ、無論ソレヲ希望シタノデアリマスケレドモ、其當時ノ財政上ノ
事情ニ於テ、是以上ノ行政財政ノ整理緊縮ヲ行フト云フコトハ事情ガ許サナ
カッタノデアリマス、其事情ト申シマスコトハ、内閣ノ成立ノ事情デアルト
カ、或ハ政黨ノ事情デアルトカ云フ意味ノ事情デハアリマセヌ、我國ノ財政
上ノ狀態ガソレヲ許サナイ、斯ワ云フ意味デアリマス、從ツテアレ丈ノ整理ヲ
行ヒマシテ、ソレニ依ツテ大體財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルコトガ出來タト信ジ
テ居リマス、若シ亞ノ整理ヲ行ハナカッタナラバ、公債ノ發行額ハ今日以上ニ
ナラナケレバナラヌ譯デアッタノデアリマス、又或ハ此結果ト致シマシテ、此
度ノ稅制整理モ歲入ニ著シキ増減ヲ生ゼシメザル範圍内ト云フコトデナクシ

テ、寧ロ增稅的ノ整理ヲヤル必要ガ起ツタカモ知レヌト思フノデアリマス、要
スルニ當時ノ財政ノ狀態ハ、增稅ヲヤリマスカ、公債ノ發行ヲ大イニ增加イ
タシマスルカ、然ラズンバ行政財政ノ整理ヲヤルトカ、此三ツノ中一ヲ選ブ
ト云フ外ニハ方法ハナカッタノデアリマス、茲ニ於テ私共出來得ル丈ノ整理ヲ
致シ、ソレニ依テ公債ノ増發ヲ防ギマシタ、又增稅ノ危險ヲモ防グコトヲ得
タノデアリマス、ソレ以上ニハ當時ノ事情ニ於テ遺憾ナガラ整理ヲ進メルコ
トガ出來ナカッタノデアリマス、然ラバ其當時ノ行政財政ノ整理ハ總テ打切ツ
テシマッタカト申シマスレバ、ソレハサウデアリマセヌ、一時ニ官吏ヲ多數淘
汰イタシ、一時ニ巨額ノ財政ノ整理ヲヤルト云フ仕事ハ一先ヅ打切りマシタ
ケレドモ、所謂行政ノ組織ニ關スル内容ニ關スル所ノ整理、言ヒ換ヘテ申シ
マスレバ、或ハ事務ノ簡捷、或ハ能率ノ增進ト云フ事柄ノ如キニ至リマシテ
ハ、是ハ政府部内ニ於キマシテ、行政調查會ヲ設ケマシテ、其調查ニ付シテ
居ル今日デアリマス、其調查ガ完了イタシマスレバ、ソレハ豫算ノ上ニ追
ト現ハレテ參リマシテ、ソレニ依ツテ幾許カノ財政ノ緊縮ガ出來ルカモ知レ
ヌト考ヘマスルガ、是ハ調査會ノ繼續中ノコトデアリマスルカラ、今日其結
果ヲ豫斷ヲ致シマシテ申上ゲルコトハ困難デアリマスガ、兎モ角モ此事務ノ
簡捷、能率ノ增進ト云フコトニ付テハ、銳意調査中デアリマス、若シ此問題
ヲ離レマシテ一時ニ巨額ノ財源ヲ得ルガ爲ノ行政財政ノ整理ト云フコトデア
リマスレバ、是ハ十四年度ニ行ヒマシタ所ノ、前段申上ゲタ一般會計、特別
會計ヲ通計イタシマシテ、二億五千六百万、其以上ニハ今日ノ所私ハ整理ノ
餘地ガ乏シイモノト考ヘマス、其整理ノ餘地ノ乏シイ限りハ稅制整理ヲ行フ
ニ當リマシテモ、歲入ヲ大イニ減少セシムルト云フ如キ稅制ノ整理ハ是ハ到
底行ハルルモノデハアリマセヌ、餘地ガアリマセヌ、茲ニ於テ已ムコトヲ得
ズ、歲入ノ著シキ増減ナカラシムル範圍内ニ於テ、此度ノ稅制整理ヲ行ツタノ
デアリマス、新稅、增稅ヲ行ツタノハ不都合ダト云フ御議論デアリマスルガ、
是ハ新稅、增稅ト云フ其モノノミヲ捉ヘテ御非難ニナルカラ、サウ云フ疑ガ起
リマス、新稅、增稅ヲヤツタ云フノハ他面ニ於テ減稅、廢稅ヲ行ツタノデア
リマス、其結果ヲ受ケタル所ノ新稅、增稅デアリマス、總額ニ於キマシテ國
民ノ負擔ハ著シク増減スル所ガナイ、唯其増減セザル所ノ國民負擔ノ總額ノ
範圍内ニ於テ、負擔ノ均衡ヲ正シタト云フノデアリマス、第二點ハ明年度ニ
於テ海軍等ノ爲ニ新稅、增稅ヲ行フト云フ考ガアルカト云フ御質問デアリマ

ス、是ハ今日ニ於テ大正十六年度ノ豫算ヲ編成スル際ニ新稅、增稅ヲ行フト云フ考ハ毛頭持ツテ居リマセヌ、是ハ明カニ申上グテ置キマス、素ヨリ海軍ノ問題等刻下ノ緊要ナル所ノ仕事ヲ行ヒマスル爲ニ要スル財源、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、明年度ノ豫算ヲ編成スル時ニ當リマシテ、歲入ノ狀況等ヲ篤ト勘案致シマシテ、適當ニ之ヲ決定スベキコトハ勿論デアリマスルガ、是ハ明年度ノ豫算ヲ編成スル時ニ至リマセネバ、今日ヨリ豫メ何トモ申上ゲルコトハ出來ナインデアリマス、唯、新稅ヲ起ス、増稅ヲ行フト云フ考ハ毛頭持ツテ居リマセヌ、第三點ハ營業收益稅ガ今日ノ營業稅ノ負擔ヨリモ却ツテ増稅ニナルト云フ御疑ノヤウデアッタノデアリマス、又殊ニ其調査ガ頗ル煩雜ニ流レテ、ソレガ爲ニ納稅者ニ苦痛迷惑ヲ蒙ラシムルコトハ大ナルモノガ有ルデアラウト云フ御疑デアッタノデアリマス、營業稅ヲ廢シテ營業收益稅ヲ起シスト云フコトニ依ツテ國民ノ負擔ヲ増加スルモノデナイン、却ツテ數百万圓ノ減收ノ來スモノデアルト云フ其事柄ハ、先刻森田君ノ御質問ニ對シテ御答ヲ致シタ通リデアリマス、而シテ第二段ノ調査ガ頗ル煩雜ニ陥ツテ、ソレガ爲ニ當業者ニ苦痛ヲ與ヘルト云フ其御質問ニ對シマシテハ、私ハ左様ナルコトハ無カラウト思ツテ居リマス、何故ニ、營業稅ヲ廢シ、營業收益稅ヲ起ス結果ト致シテ、今日ノ程度以上ニ、納稅者ニ煩累ヲ與ヘルト云フコトニナルカト云フ其疑ヲ起サレマシタ趣意ニ付テ、私十分ニ了解スルコトガ出來ナカッタノデアリマスルガ、營業稅ヲ改メテ營業收益稅ニ致シタ、外形標準ノ課稅ヲ廢シテ純益主義ニシタト云フコトニ依ツテ、當業者ニ煩累ヲ與ヘルト云フ理由ハ毛頭無イト心得テ居リマス、勿論其調査ハ嚴重ニセヌケレバナリマセヌ、綿密ニ致サナケレバナリマセヌガ、ソレガ爲ニ當業者ニ今日以上ノ迷惑ヲ掛ケ煩累ヲ與ヘルト云フコトノアルベキ筈ハナイト考ヘテ居リマス、第四ノ御質問ハ、營業稅ノ收入、今日ノ程度ヨリモ、營業收益稅ノ收入ノ方ガ増スト思フガ、政府ハ増サナイト云フ、若シ大正十六年ノ豫算ヲ編成スルニ當ツテ、十五年度ノ實績ニ鑑ミテ增收ニナルト云フコトガ明瞭ニナツタ時ニ於テハ、其增收ニナツタ部分ダケ稅額ヲ減ズル如クニ、稅率ヲ下ゲルト云フ考ハナイカト云フ御質問デアッタノデアマリス、質問デアッタノデアリマス、衆議院ニ於テモ屢々受ケタリマスレバ、繰返シテ申シマスルガ如クニ、サウ云フ結果ハ生ジナイト確信

ヲ致シテ居リマス、無論民間ノ諸團體ニ於キマシテモ、或ハ商業會議所ノ如キニ於テモ、相當ノ材料ヲ御蒐集ニナリマシテ、統計ヲ御作リニナツテ居ルノデアラウト思ヒマスルガ、政府ガ全國ニ持ツテ居リマスル所ノ此機關、即チ稅務監督局ナリ、稅務署ナリ、是等ノ機關ニ依ツテ綿密ニ調査イタシマシタル所ニ依リマスレバ、是ハ屢々申上グマスルガ如ク、決シテ增稅ニナリマセヌ、數百万ノ減收ニナルト云フコトヲ信じテ居リマス、從テ大正十六年度ニ於テ、若シ増稅ニナツタナラバ、ソレダケ稅率ヲ減少スルカト云フ御質問ニ對シテハ、唯今御答ヘスルコトガ甚ダ困難デアリマス、何トナレバ增收ニハナラヌト思ツテ居リマスルガ故ニ、若シ增收ニナツタナラバドウスルカト云フ御質問ニ對シマシテハ、豫メ御答ヲスルコトハ困難デアリマス、若シ十六年度ノ豫算ヲ編成スル時ニ於テ、或ハ十七年度ノ豫算ヲ編成スル時ニ於テ、意想外ノ增收ガ來マシタナラバ、其增收ノ由ツテ來ル所ノ原因ト云フモノヲ十分ニ研究セヌケレバナリマセヌ、是ハ御承知ノ通リ營業收益稅ハ十六年度カラ施行スルコトニナツテ居リマスルカラ、其十六年度一年間ノ施行實蹟ヲ見ズンバ果シテ增收ニナツタカナラヌカト云フコトハ分リマセヌカラ、十六年度ノ豫算ヲ編成スル時ニ於テハ、未ダ其結果ハ不明デアリマス、十七年度ノ豫算ヲ編成スル時ニ於テ、初メテ一年間ノ施行ノ結果ガ現ハルルノデアリマス、其現ハレタ結果ニ依リマシテ、其增收ハ何ニ依ツテ來ツタカ、是ハ政府ノ最初カラノ見込達ヒデアッタカ、或ハ政府ノ見込違ヒデハナカッタカ、經濟上ノ狀況ノ變化ニ依テ純益主義ニシタカ、或ハ政府ノ見込違ヒデハナカッタカ、經濟上ノ狀況ノ變化ニ致サナケレバナリマセヌガ、ソレガ爲ニ當業者ニナツタカト云フ、其增收ノ原因ヲ分析シテ、之ヲ考慮セヌケレバナラヌノデアリマス、其分析ヲ致シテ十分ニ考慮イタシ、尙ホ他ノ歲入科目カラ生ズル所ノ收入ヲ綜合イタシマシテ、茲ニ經常歲入ガ幾ラ、臨時歲入ガ幾ラ、合計歲入ガ幾ラニナルト云フコトヲ計算ヲ致シ、ソレニ對シテ所要ノ歲出ハ幾ラニナルト云フコトヲ積算イタシマシテ、茲ニ初メテ豫算ヲ編成スルノデアリマスカラ、增收ガアッタナラバ、ソレヲドウ使フカト云フコトヲ今日豫メ申上グルコトハ甚ダ困難デアリマス、御質問ノ第五點ハ帳簿物件ノ検査ノ權能ヲ稅務官吏ニ與ヘテアルト云フ理由如何、是ハ御承知ノ通り現行ノ營業稅法ニ於キマシテモ、帳簿物件ノ検査ノ權限ヲ與ヘテアリマス、其同シ規定ヲ製用イタシマシテ、營業收益稅ニ之ヲ採ツテアルノデアリマス、政府ト致シマシテモ、徵稅ヲスル場合ニ於テ、當業者ノ帳簿物件ヲ検査スルト云フコトハ是ハ決シテ好ンデ爲スコトデハアリマセヌ、願

クハ當業者ノ申告ニ依テ直チニ課稅ヲ致シタイ、其申告ノミヲ信賴ヲ致シマシテ、ソレデ徵稅ノ目的ヲ達スルコトガ出來マスレバ、誠ニ此上ノコトハアリマセヌガ、遺憾ナガラ今日ノ我國民ノ納稅思想ノ程度ニキマシテハ、マダ一十分ニ申告ヲ信賴スル譯ニハ參リマセヌ、是ハ御互ニ遺憾トスル所デアリマスガ、實際ハ正ニ其通リデアリマス、茲ニ於テ其當業者ノ申告ト云フモノガ果シテ正當デアルカ否ヤト云フコトヲ決スル爲ニハ、當該官廳ト致シマシテハ、相當ノ材料ヲ持タナケレバナラヌ、其材料ヲ得ル爲、已ムコトヲ得ズ當業者ノ帳簿物件ノ検査ニマデ及バナケレバナラヌ、併シはハ規定ヲ殘シテ置キマシテモ、之ヲ適用スル上ニ於キマシテハ、出來得ルダケサウ云フコトハ避ケタイト考ヘマス、唯此規定ヲ削除シテシマヒマスルト云フト、帳簿物件ハ如何ナル場合ニ於テモ、検査ナレル心配ガナイト云フノデ、當業者ノ申告ハ愈々實際ト遠ザカルト云フ虞レガアリマス、其虞レヲ防グ爲ニハ此規定ハ是ハ從前ノ如ク存續シテ置ク必要ガアルト思ヒマス、又必要ナ場合ニ於テハ、之ヲ適用イタシマシテ検査ヲスルト云フコトモ、誠ニ已ムヲ得ナイコトデアルト思ヒマス、森君ノ御説ヲ伺テ居リマスレバ、所得稅法ニ於テハ其規定ガナイデハナイカ、規定ガナイニ拘ラズ、所得稅ノ調査徵收ト云フコトハ圓滿ニ行ハレテ居ルデハナイカト云フ御話デアリマシタガ、是ハ所得稅ノ調べニ付キマシテハ、例ヘバ俸給給料ト云フ如キモノニ付テハ、ソレヲ支拂フ所ノ官廳ニ照會ヲ致スト云フ途ガアリマス、從テ當業者……納稅者ノ申告ト云フモノハ、偽リヲ申ス餘地ガアリマセヌ、商工業カラ生ジマスル所ノ所得稅ニ付キマシテハ、帳簿物件ノ検査ヲスルト云フ機能ヲ所得稅法ニハ與ヘラレテ居リマセヌガ、現在ノ營業稅法ニ與ヘラレテアリマスカラ、其材料ニ依テ商工業カラ生ズル所得ヲ、所得稅法ノ適用ニ於テ、政府ハ正確ニ知ルコトガ出來テ居ルノデアリマス、ソレ故ニ若シ營業收益稅法ノ規定カラ致シマシテ、帳簿物件ノ検査ヲスルト云フ規定ヲ取テシマヒマスト云フト、營業收益稅法ノ適用ガ十分ニ行ハレマセヌノミナラズ、延イテハ所得稅法ノ適用施行モ是亦完全ニ行ハレルコトガ出來ナクナルノデアリマス、ソレ故ニ是ガ濫用ハ飽迄モ戒メマスルガ、此規定ハドコ迄モ存續シテ置クト云フコトガ必要デアルト思フノデアリマス、少クトモ現在ノ我國民ノ納稅觀念ノ程度ニ於テハ、是ハ存續スルコトガ必要デアルト信ジテ居リマス

○森平兵衛君 御親切ナル御答辯ニ依リマシテ大體了承イタシマシタ、併シ

第四番目ニ質問イタシマシタ大正十六年度ノ實蹟ニ徵シマシテ、若シモ此營業收益稅ガ現行營業稅ヨリ著シク增收ヲ致シマシタ場合ニハ、今大藏大臣ハ稅率ヲ引下ゲルト云フコトニ付テハ明言ガ出來ナイト云フコトデアリマスガ、ドウカ民間ノ方ノ調查モ決シテ杜撰デハ私ハナイト信ズルノデアリマス、必ズ相當ノ根據ガアッテ調査シテ來タモノト思フノデアリマス、其際ニハ百分ノ三・六、二・八ト云フコトニ付テ十分御考慮アラムコトヲ希望シテ置キマス、是デ質問ヲ打切りマス

〔石川三郎君演壇ニ登ル〕

○石川三郎君 此案ハ既ニ衆議院ニ於テ十分論議サレテ居ルノデアリマスルガ故ニ、私ハ唯一點ニ付テ御尋ネヲ致スノデアリマス、而シテ其質問ノ要點ハ此度ノ稅制整理ハ少クモ無產階級者、其中デモ農民ニ對シ負擔ヲ增加イタシ、其生活ノ脅威ヲ致スモノデハナイカト云フガ質問ノ要旨要點デアリマス、之ガ爲ニハ先づ農業者ト商工業者ノ負擔ノ變化ヲ調ベヌケレバナラヌノデアリマス、之ヲ調ベテ見マスルト、ドウナルカト申シマスレバ、直接國稅ニ於キマシテハ農業者モ商工業者モ負擔ヲ輕減イタサレテ居ルノデアリマス、即チ農民ハ四千二百万圓、商工業者ハ四千百万圓、尤モ私ハ衆議院ニ於キマシテ修正セラレタルモノヲ原案トシテ申スノデアリマスルカラ、一分減ハ申上ゲヌノデアリマス、デアリマスルカラ、直接國稅ニ於キマシテハ、却テ農業者ガ負擔ヲ輕減サレルコトニナツテ居リマス、併ナガラ之ヲ地方稅ニ及ボシテ見マスルト云フト、地方稅ニ於キマシテハ農民ハ少シモ負擔ノ輕減ヲ受ケテ居リマセヌ、寧ロ家屋稅ナルモノガ新設セラレテ居ルノデアリマスルカラ、無產階級ノ農民ハ、地方稅ノ附加稅ハ從來ヨリモ多クセラレテハ居ナイカト云フ心配ガアル、之ニ反シマシテ商工業者ハ直接國稅及ビ營業收益稅ノ附加稅ニ於キマシテ、府縣デハ八十万圓、市町村ニ於キマシテハ百四十三萬圓、營業稅、雜種稅ニ於キマシテハ、府縣ニ於テ四百二十七萬圓、市町村ニ於テ五百十七萬圓、計千百六十七萬圓、之ト直接國稅四百十萬圓ヲ合シマスルト、商工業者ハ確ニ、千五百七十七萬圓ノ負擔ノ輕減ニ相成ルノデアリマス、之ノ千二百万圓ノ輕減ニナツタ農民ト比較イタシマスルト云フト、一朝ニシテ商工業者ガ農業者ニ對シ三百七十七萬圓ノ負擔輕減、即チ均衡ヲ茲デ破ツテ居ルネスルノデアリマス、之ニ對スル當局ハ如何ナ考ヲ持タレルノデアリマスカ、御尋

ノ農民ニ苦痛ヲ及ボス結果ニ相成ルノデアリマス、之ガ爲ニハ資産別即チ資產者ト中產階級ノ者ト無產階級ノ者トノ負擔ノ變化ヲ申上ゲヌケレバナラヌノデアリマス、今直接國稅ヲ納ムル者以上ヲ資產者ト致シテ之ヲ調べテ見マスルト、資產者ニ對シマシテハ、營業稅ノ變化、即チ收益稅ニナリマシタ爲ニ、四百十万圓ノ内百九十万圓、同シク所得稅ニ於テ五百四十萬圓、計七百三十萬圓ヲ減ジテ居リマス、併ナガラ又一面ニハ資本利子稅ニ依ツテ千四百八十万圓、相續稅ノ引上ゲニ依リマシテ六百八十万圓、計二千百六十萬圓ヲ増シテ居ルノデアリマスカラ、結局資產者ニ對シマシテハ、千四百三十萬圓ノ負擔ノ增加ヲ致シテ居ルノデアリマス、中等階級ニ對シテハ、ドウナツテ居ルカ、即チ所得稅ハ納メムトスル階級ノ者ニアリマス、此者ハ所得稅ニ於キマシテ四百七十萬圓、即チ千二百圓ニ引上ゲマシタ結果ニ：地租ニ於キマシテ千二百万圓、營業稅四百十萬圓ノ中二百二十萬圓、相續稅ニ於テ六十萬圓、計千九百五十萬圓ノ負擔ノ輕減ヲ致シ、他ニ一厘一毛增加ガナイノデアリマス、無產階級者即チ之ヲ含ム所ノ一般國民ハドウナツテ居ルカト申シマスルト、通行稅ニ於テ千百六十萬圓、醬油稅ニ於テ七百十萬圓、賣藥稅ニ於テ千零十萬圓、又織物消費稅ニ於テ二千五百三十萬圓、計五千四百十萬圓ヲ減ジ、他ニ所得稅ニ於テ二千七百九十二萬圓、麥酒稅ニ於テ五百五十萬圓、骨牌稅ニ於テ五十萬圓、煙草ノ值上ゲニ依ツテ二千二百二十萬圓、飲料稅ノ新設ニ依ツテ四百三十萬圓、計六千零四十萬圓ヲ增加イタシテ居ルノデアリマスガ故ニ、結局無產階級ヲ含ム一般國民ハ茲ニ六百三十萬圓ト云フ負擔ノ増加ニ相成ルノデアリマス、而シテ此無產階級者ノ中ニ於キマシテモ、商工業者ハ前申シマスル通り地方稅ニ於テ幾分輕減ニナツタ點ガアリマスケレドモ、農民ハ一ツモ輕減ニナツテ居ラヌ、從ツテ無產階級ノ農民ハ何ト仰シヤツテモ、負擔ノ過重ニ相成ツテ居ルコトハ蔽フ可カラザル事實デアルト思フノデアリマス、今申シマシタ所ノ結果ヲ綜合シテ申シマスルト、ヲ爲シタルコト、第二ハ今度ノ稅制整理ガ矢張リ租稅、地租、營業稅、所得次ノヤウナコトニナラウカト思フノデアリマス、此度ノ稅制整理ハ一般國民、殊ニ無產階級マデモ踏付ケテ、唯獨リ中產階級ノミニ對シ多大ノ負擔ノ輕減ヲ爲シタルコト、アルト思フノデアリマス、今申シマシタ所ノ結果ヲ綜合シテ申シマスルト、ハレテ居ルノデアリマス、間接稅ト云フモノガ無カツナラバ、ドンナニ巧妙

ナ理窟ヲ付ケラレテモ、此度ノ税制整理ハ決シテ實施ガ出来テ居ラナイ、實現サレテ居ラナイモノト思フノデアリマス、斯様ナ結果デ税制整理ガ行ハレテ居リマスルカラ、此上私ガ進メテ質問イタシマセヌデモ、此度ノ税制整理ハ即チ無產階級ノ農民ニ對シテ之ヲ苦シメルモノデアルト云フコトハ、最早殆ド私ハ盡シテ居ルト思フノデアリマス、併ナガラ質問ノ要旨要點デアリマスルガ故ニ、尙ホ簡條ニ致シマシテ順々逐ウテ御尋ラスルノデアリマス、第一ハ中產階級者ノ負擔ヲ減ラスト云フコトハ勿論贊成デアリマス、反対デハアリマセヌ、併ナガラ共存共榮ヲ以テ初メテ立ツ所ノ今日ニ於キマシテ、無產階級者ヲ踏付ケテ、唯、中產階級バカリスンナニ引キ立テタ税制整理ヲヤリマシテ、果シテ是ガ社會政策ニ叶フモノデアルカドウカト云フノガ第一點、第二ハ同ジク通行税モ賣藥稅モ綿織物稅モ消費稅等ノ免稅モ勿論私ハ贊成デアリマス、反対ノ意見ハ寸毫モ持ツテ居リマセヌ、併ナガラ之ヲ行フニ當リマシテ、酒、麥酒等ノ總テノ間接稅ヲ引キ上ゲヌケレバ斷行出來ナイト云フニ至リマシテハ、非常ニ考ヘテ致サヌケレバナラヌコトト思フノデアリマス、何トナレバ先般質問モアリマシタル如ク、一般ノ國民ハ是等ノ稅ハ既ニ恒久稅トシテ稅ノ體系ニ付テ怪シク思ツテ居ラナイ、又此稅ガアル爲ニ非常ニ困ツテ居ラナイ、殊ニ今日困ツテ居ル所ノ無產階級ノ農民ハドウデアルカ、金ガナケレバ一里二里ハ歩イテ行ク、又藥ニ致シマシテモ彼等ガ用ウル所ノ藥ハ解熱剤、虫下シ、轍、切疵ノ時ニ用ウルモノデ、其價ハ十錢内外ノモノデアル、而カモ一年ノ中ニ何度カニ過ギナイ、五十錢以上ノモノヲ使フト云フコトハデアル、サウ云フ風デアリマスルケレドモ、此酒、煙草ト云フコトニナリマスルト、全ク其趣ヲ異ニ致シテ居ルノデアリマス、殊ニ申ス迄モナク、農民ニ苦シニデ居ルト云フ事實ガアル以上ハ、此事實ヲ土臺ニシテ税制整理ヲ爲スノガ至當デハナイカ、サウスルト云アト、サウ困ツテモ居ラナイ所ノ通行稅ナドヲ廢スル爲ニ、直グ明日カラ困ル所ノ、此間接稅ヲ上ゲテ行フガ如キ税制

整理ハ爲サヌニ如カヌノデアリマス、私ハ却テコソナ事ハ爲サヌ方ガ宜イト思フ、是ガ質問ノ第二點、質問ノ第三點ハ、間接税ト云フモノハ容易ニ引上グベキモノデナイト云フ考ヲ持テ居ルノデアリマス、何トナレバ酒ト煙草ヲ一遍飲ンデ其味ヲ知リマスルト、假令生活難ニ追ハレ、其値ハ高クナリマシテモ、止メ得ルモノデハアリマセヌ、止メ得ナイノガ人情デアリマス、ソコテ無產階級ノ農民ハ、其都度非常ニ困難ヲ感ズルヤウニ相成ルノデアリマスガ故、私ハ平素ニ於キマシテハ、此間接税ハ容易ニ引上ゲサヘスレバ、ドレシ即チ之ヲ引上ゲマスルノハ、濱口藏相ノ平素申サレル如ク、國家有事ノ場合、其時ニ限ルモノト私ハ考ヘルノデアリマス、然ルニ今度之ヲヤラレタト云フノハ、矢張リ濱口君モ此間接税ハ他ノ直接税ト同様デアル、特別ニ之ヲ大事ニスル必要ハナイ、必要ガアレバ之ヲ他ノ直接税ト一緒ニ上ゲル、何モソンナ別ニ間接税ト云フモノハ大事ニスル必要ハ無イト云フ御考デヤラレタノカ、サウデハナイケレドモ、背ト腹トハ替ヘラレヌカラヤラレタ、斯ウ云フ御考デアルカ、腹藏ナク御意見ヲ承ハリタイノデアリマス

〔國務大臣濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(濱口雄幸君) 石川君ノ御質問ハ三點デアッタヤウニ思ヒマス、第一點ハ、此度ノ税制整理ハ中產階級ニ厚クシテ、無產階級ニ薄イノハ不公平デハナイカト云フ意味デアッタヤウデアリマス、政府ハ別ニ左様ニ考ヘテハ居リマセヌ、此度ノ税制整理ニ於キマシテハ、中產階級以下多數國民ノ負擔ヲ輕減シ、其福利ヲ増進スルト云フコトヲ目的トシタノデアリマス、而シテ中產階級以下多數國民ノ負擔ト云フ内デ、幾ラガ中產階級ノ負擔デアッテ、幾ラガ無產階級ノ負擔デアルト云フコトヲ、統計的ニ數字ヲ以テ示スコトハ、是ハ困難デアラウト思ヒマス、唯今石川君ハ數字ヲ以テ御説明ニナリマシタガ、私承ハッテ居リマシタケレドモ、其御舉グニナリマシタ數字ガ、果シテ無產階級ト中產階級ノ區別ニ付テ正當ナリヤ否ヤト云フコトヲ判断スルダケノ資料ヲ有ツテ居リマセヌ、試ニ政府ノ考ト致シマシテ、此度ノ税制整理ニ依テ中產階級以下多數國民ノ負擔ヲ輕減スル爲ニ、如何ナル税ヲ如何ニ減ジ、如何ニ廢シタカト云フコトニ付テ、昨日ノ説明ト重複ヲ厭ハズ一應申述べマシテ、石川君ノ御了解ヲ得タイト思ヒマス、先づ通行税ノ減少ニ依ツテ千百六十餘

万圓ノ減少ヲ見テ居リマス、醬油税ノ全廢ニ依ツテ七百十餘万圓、賣藥税ノ全廢ニ依ツテ千十萬圓、綿織物消費税ノ免除ニ依ツテ二千五百三十萬圓、是ダケノ合計ガ五千四百二十餘万圓ニナルノデアリマス、大體ニ於テ此金額ヲ以テ無產階級ノ負擔ノ輕減ニ當ルモノト見レバ見ラレヌコトモナカラウト思ヒマス、無論例外ナシデハアリマセヌガ、大體左様カト思ヒマス、而シテ此外ニ所得税ノ免稅點ノ引上ゲ其他ニ依リマシテ、四百七十餘万圓ヲ減少イタシマス、是ハ中產階級ノ負擔ノ輕減ニナラウト思ヒマス、其次ニハ地租ノ免稅點ノ設定ニ依リマシテ、千二百餘万圓ノ減少ヲ見マス、是亦中產階級ノ負擔輕減ト見テ差支ナカラウト思ヒマス、次ニハ相續税ノ免稅點ノ引上ゲニ依テ六十餘万圓ノ減少ヲ見マス、是亦中產階級ノ負擔ト言ヒ得ルト思ヒマス、ソコデ此所得税ノ免稅點ノ引上ゲト、地租免稅點ノ設定、所得税ノ免稅點ノ引上ゲ、此三ツノモノヲ合計イタシマスト、千七百四十餘万圓ト云フ數字ガ出マス、是ガ大體ニ於キマシテ、中產階級ノ負擔減少ニ當ルダラウト思ヒマス、通行税以下ノ免除ニ依ツテ、先づ無產階級ノ負擔輕減ニ當ルト見ルベキ金額五千四百餘万圓ニ、唯今申シマシタ直接國税ノ免稅點ノ設定若クハ引上ニ依ツテ減少イタシマスル所ノ千七百四十餘万圓等ヲ合セマスト云フト、合計金額七千七百餘万圓ト相成リマス、是ダケノ金額ガ、此度ノ税制整理ニ依テ、中產階級以下、多數國民ノ負擔ヲ輕減スルト云フ數字デアラウト思ヒマス、然ラバ此減收ヲ補填スルガ爲ニ、新税、增税ヲ行ツタノデアルガ、其中デ消費税ヲ幾ラ增加シタカト申シマスト云フト、消費税ノ増加イタシマシタモノガ、酒ノ税ガ三千三百餘万圓、煙草ノ値上ゲニ依ル增收ガ二千二百餘万圓、清涼飲料税ノ新設ニ依ル所ノ增收ガ四百餘万圓、此三口ノ合計ガ六千四十餘万圓ト相成リマス、此六千四十餘万圓ト云フ消費税ノ増徵ヲ、初メニ申シタ所ノ社會政策的ノ減税、即チ七千七百七十餘万圓カラ控除イタシマスト云フト、其差引減少ガ千百二十餘万トナリマス、是ダケノ金額ガ即チ中產階級以下ト申シマスカノ負擔ノ輕減ト相成ルト考ヘテ居リマス、尤モ御斷リヲ申シテ置キマスガ、此數字ハ正確デアリマスガ、是ガ果シテ中產階級以下ノミノ負擔ノ輕減ニナル、或ハ無產階級ノミノ負擔ノ輕減ニナルトハ、私ハ責任ヲ以テハ申シマセヌガ、石川君ノ御説ヲ伺ツテ居リマスト云フト、酒税ノ増徵、煙草ノ定價引上、清涼飲料税ノ設定ト云フコトハ、是ハ總テ無產階級ノミノ負擔ニナルカノ如クニ御考ヘニナツテノ御議論ノヤウデアリマス、私ハ左様ニ

ハ考ヘテ居リマセヌ、是ハ國民一般ノ消費デアリマスルガ、特ニ無產階級ノミノ負擔トハ考ヘテ居リマセヌ、殊ニ煙草ノ如キニ至リマシテハ、中產階級以上、資產階級ニ於テ、上等ノ煙草ヲ使用サレテ居ルト云フコトハ、是ハ争フベカラザル事實デアリマスルカラ、此酒煙草ノ増率若クハ値上グト云フコトニ依ツテ生ジタル歲入ノ增加ガ、全部無產階級ノ負擔デアルト御計算ニナルコトハ、是ハ聊カ無理デハナイカト考ヘマス、加之同ジ消費稅ノ減免、若クハ増稅ニシマシテモ、唯其金額ノミヲ單純ニ比較スル譯ニハ參ラスト思ヒマス、金額ヲ比較スルノモ無論必要デアリマスルガ、金額以外ニ於キマシテ、消費物ノ内容、其消費物ノ國民生活上ニ於ケル所ノ地位ト云フコトモ、併セテ考究スル必要ガ有ルデアラウト思ヒマス、此見地ニ立ツテ考ヘマスルト云フト、私ハ此度稅制整理ニ依ツテ、政府ガ免稅セムトスル所ノ通行稅、醬油稅、賣藥稅、綿織物消費稅ノ如キモノハ、是ハ即チ國民ノ生活必需品ニ對スル所ノ課稅ノ減免デアル、而シテ其代リニ新ニ增徵セムトスル所ノ酒ノ稅、煙草ノ値上、清涼飲料稅ノ設定ト云フコトハ、前申シマシタ通行稅以下ノモノト比較ヲ致シマスルト云フト、國民生活上ニ於ケル地位ハ大分違フト思ヒマス、是ハ生活ノ必需品ト申スヨリモ、寧ロ生活ノ嗜好品……生活上ノ嗜好品ト申上ゲル方ガ適當デアラウト思フ、即チ此度ノ稅制整理ニ於キマシテハ、生活ノ必需品ニ對スル所ノ課稅ヲ大體ニ於テ減免ヲ致シ、其歲入ノ缺陷ヲ補填スルガ爲ニ、生活上ノ嗜好品ニ對スル所ノ課稅ノ增徵、若クハ新稅ヲ起シタト云フコトガ、此稅制整理ノ特長デアルト、政府ハ信ジテ居リマス、即チ金額ニ依ツテ御比較ニナルト云フヨリモ、金額ノ外ニ、其課稅物件ノ内容、即チ國民ノ生活必需品デアリヤ否ヤト云フ點ニモ特ニ重キヲ置イテ御研究アラムコトヲ希望イタシマス、第二點ハ酒、麥酒、煙草ノ增稅ハ宜シクナイト云フ說デアリマス、如何ニモ政府モ昨日モ申シマシタ通り、稅制整理ノ場合ニ於キマシテ、新稅、增稅ヲ起スト云フコトハ……ヤルト云フコトハ、出來ルダケ之ヲ避ケタイト云フコトニ全力ヲ盡シタノデアリマス、併ナガラ屢々申上ゲマスル如ク、財政上ノ理由ニ依ツテ一方ニ減ズル所アレバ、之ヲ補フ爲ニムコトヲ希望イタシマス、殊ニ煙草ノ如キニ至リマシテハ、中產階級以上スル所ガナケレバ、財政上立行カヌト云フ目下ノ狀況デアリマス、茲ニ於テ何カ補填スル財源ヲ發見シナケレバナラヌ場合ニ於キマシテ、サテ何ニ依ツテ其財源ヲ求ムルカト申シマスト、ソレハ申ス迄モナク、國民生活上ノ必需品ヲ離レタル所ノ物件、即チ嗜好品若クハ贅澤品、而シテ其負擔ヲ受ケル

○石川三郎君 唯今ノ藏相ノ説明ハ遺憾ナガラ私ハ腑ニ落チルコトガ出來ヌノデアリマス、蓋シ有產者ト、中產階級ト、無產者ノ定義ト云フモノハ、特ニハツキリシタモノハアリマセヌ、ソコデ私共ハ此無產階級ノ者ガ苦ミハシナイカト云フコトデ、無理ヤリニ中產階級ト無產階級ヲ區別シテ、其負擔ヲ求メテ研究イタシテ居ルノデアリマス、濱口君ハ中產階級ト無產階級ヲ殊更ニゴツチヤ混ゼニシテ、説明ドコロカ逆襲的ニ出ラレマシテ説明ヲセヌノデアリマス、唯茲ニ私ハ一言申上グテ置キタイノハ、中產階級ニ對シテ私ハ千九百五十万圓ヲ輕減シ、之ニ對シテ大藏大臣ハ、千七百万圓位ト申サレテ居ルノデアリマスガ、是ハ大藏大臣ノ間違デハナイカ、即チ其内ニハ四百十万圓ノ營業稅ノ内、收益稅ヲ四百圓マデハ取ラナイ、之ニ依ツテ二百二十萬圓ノ免稅ガアルガ、是ハ中產階級ノ免稅デナクシテ、ドレノ免稅デアリマス、ソレカラモウ一つハ此間接稅ノ負擔ノ増加ハ無產階級ノミデ負フト言フヤウニ申サレタガ、濱口君ハ熱シテハ居ルマイカト思フ、私ハ一般國民、即チ無產階級ヲ含ム一般國民トシテ言ツテ居ル、サウシテ他ノ無產階級ハ經費ノ輕減ト云フモノハ無イカラ、確カニ一般國民ト共ニ六百三十萬圓ノ負擔ハ増加ニナル、斯ウ云フコトヲ言ツテ居リマスノニ、一般國民デアル、無產階級ノミガ酒稅ヲ負フノデナイト、子供ニ言フヤウナコトハ御慎ミ下サラムコトヲ希望イタシマス、私ハ是デ質問ヲ打切リマス

○議長(公爵德川家達君) 阪谷男爵ニ伺ツテ見タイト存ジマス、此次ハ阪谷男爵ノ御順デゴザイマスガ、阪谷男爵ノ御質疑ハ大分時間ヲ要シマセウカ、如

何デゴザイマセウカ

○男爵阪谷芳郎君 本員ハ政府ノ所信ヲ伺ヒマスノデ、政府ノ御答ガ長ケレバ從ツテ長クナリマス、多分二時間位掛カラウト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 此際諸君ニ御詰リヲ致シタク存ジマス、本日ハ此程度ニ於テ延會イタシテハ如何デゴザイマス、是位デ延會イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、明二十六日ハ午前十時ヨリ開會イタシマス、議事日程ハ本院稟報ヲ以テ、御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス

午後三時五十一分散會

大正十五年二月二十五日